

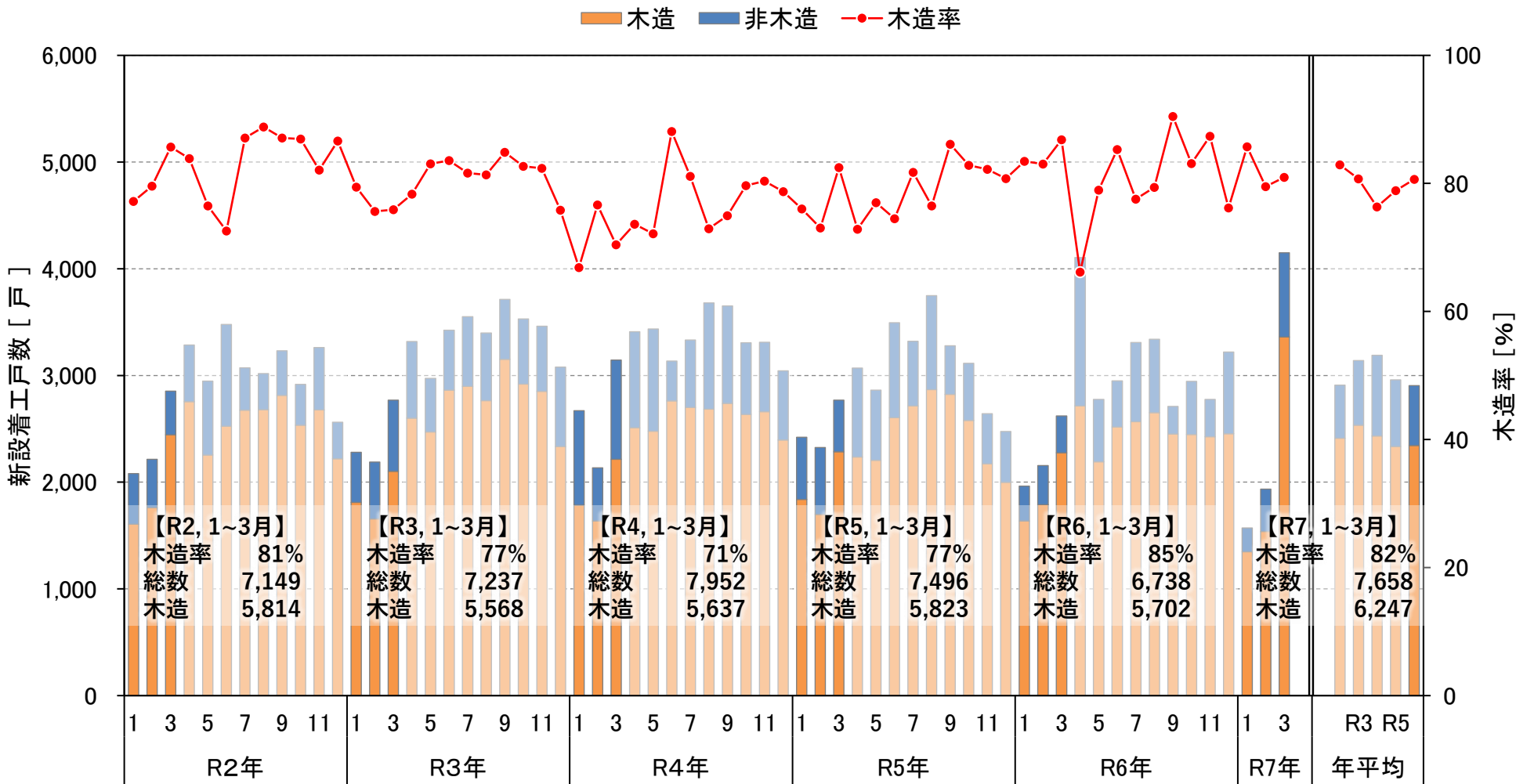
東北森林管理局管内の 木材需給及び木材価格等について

令和7年6月19日(木)

東北森林管理局

■ 東北森林管理局管内5県の新設住宅着工戸数の推移（令和2年1月～令和7年3月）

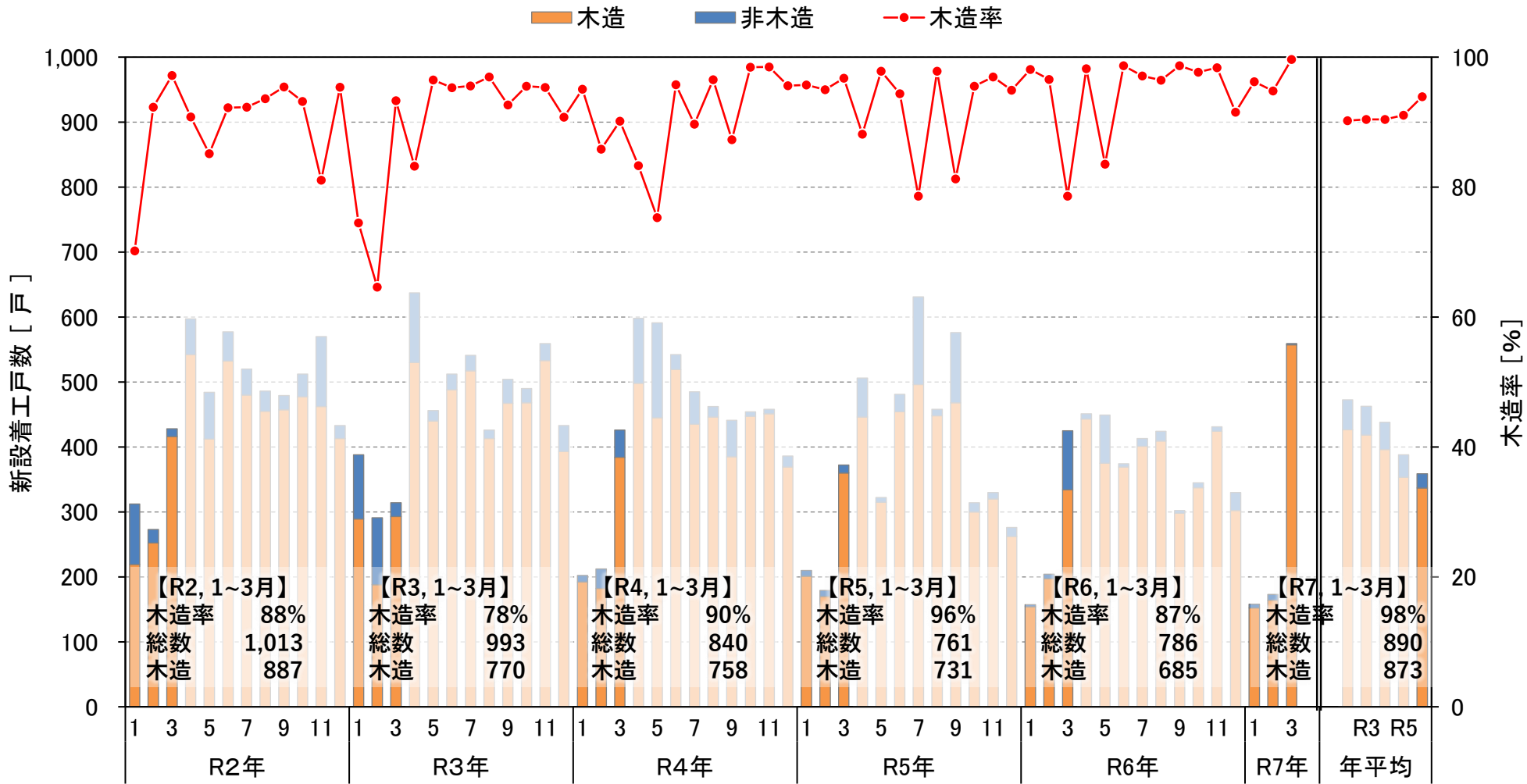
○ 東北5県の令和7年1～3月期の新設住宅着工数は、昨年同期より920戸（14%）増加した。
この期間の木造は昨年同期より545戸増加し、木造率は-3%であった。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

青森県の新設住宅着工戸数の推移（令和2年1月～令和7年3月）

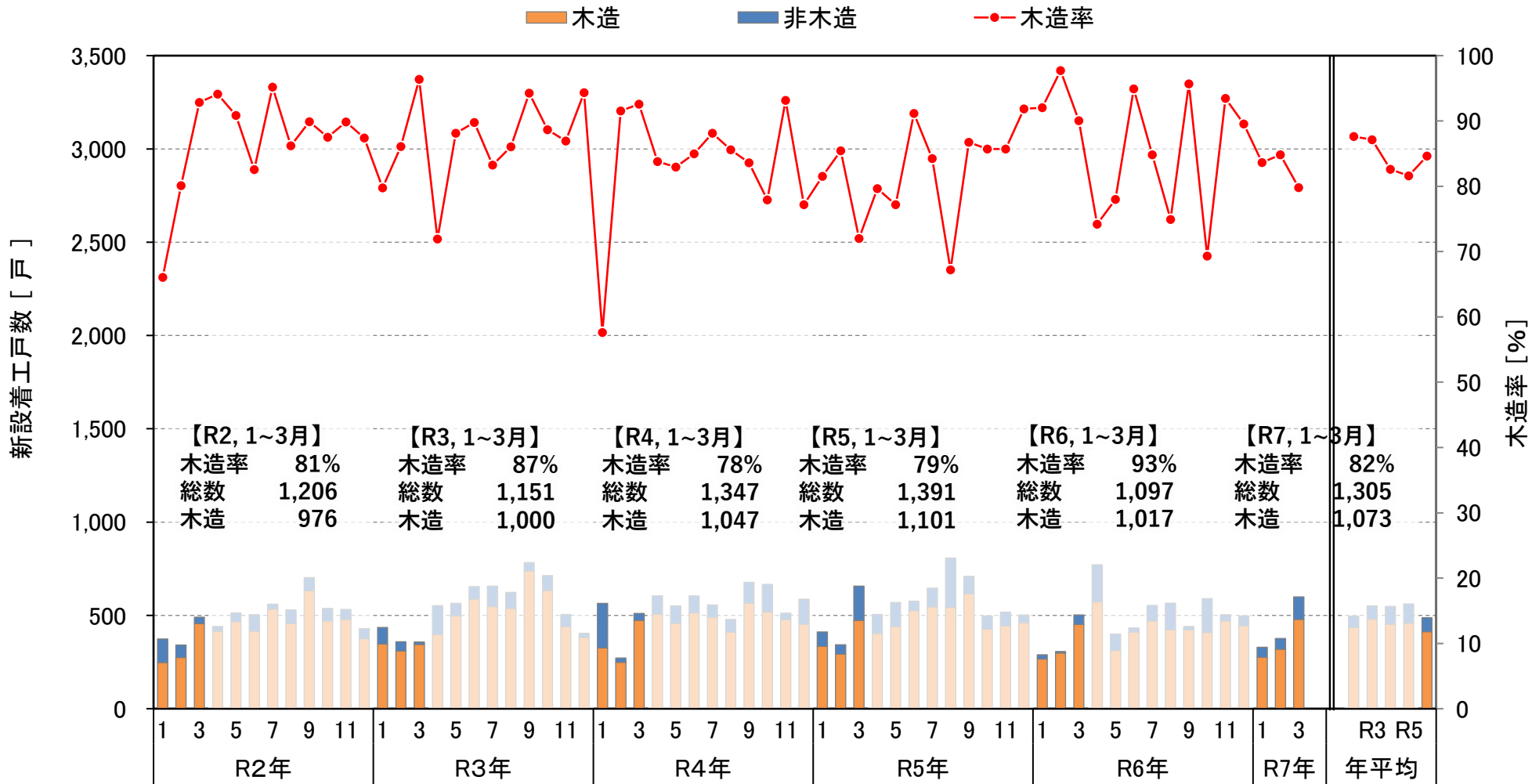
○ 青森県の令和7年1～3月期の新設住宅着工数は、昨年同期より104戸増加した。
この期間の木造は188戸増加し、木造率は11%増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

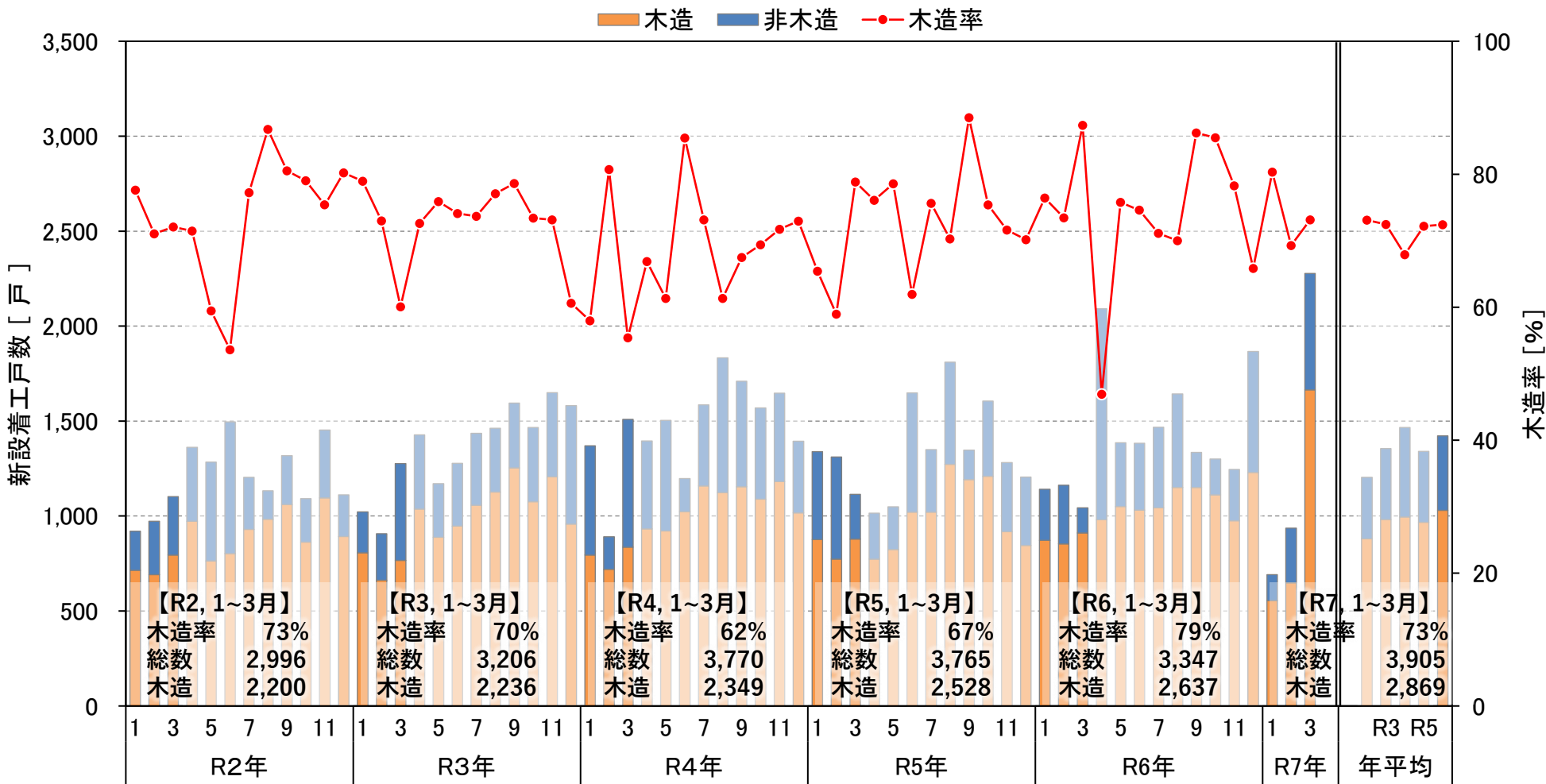
■ 岩手県の新設住宅着工戸数の推移（令和2年1月～令和7年3月）

○ 岩手県の令和7年1～3月期の新設住宅着工数は、昨年同期より208戸増加した。
この期間の木造は56戸増加し、木造率は11%減少した。



■ 宮城県の新設住宅着工戸数の推移（令和2年1月～令和7年3月）

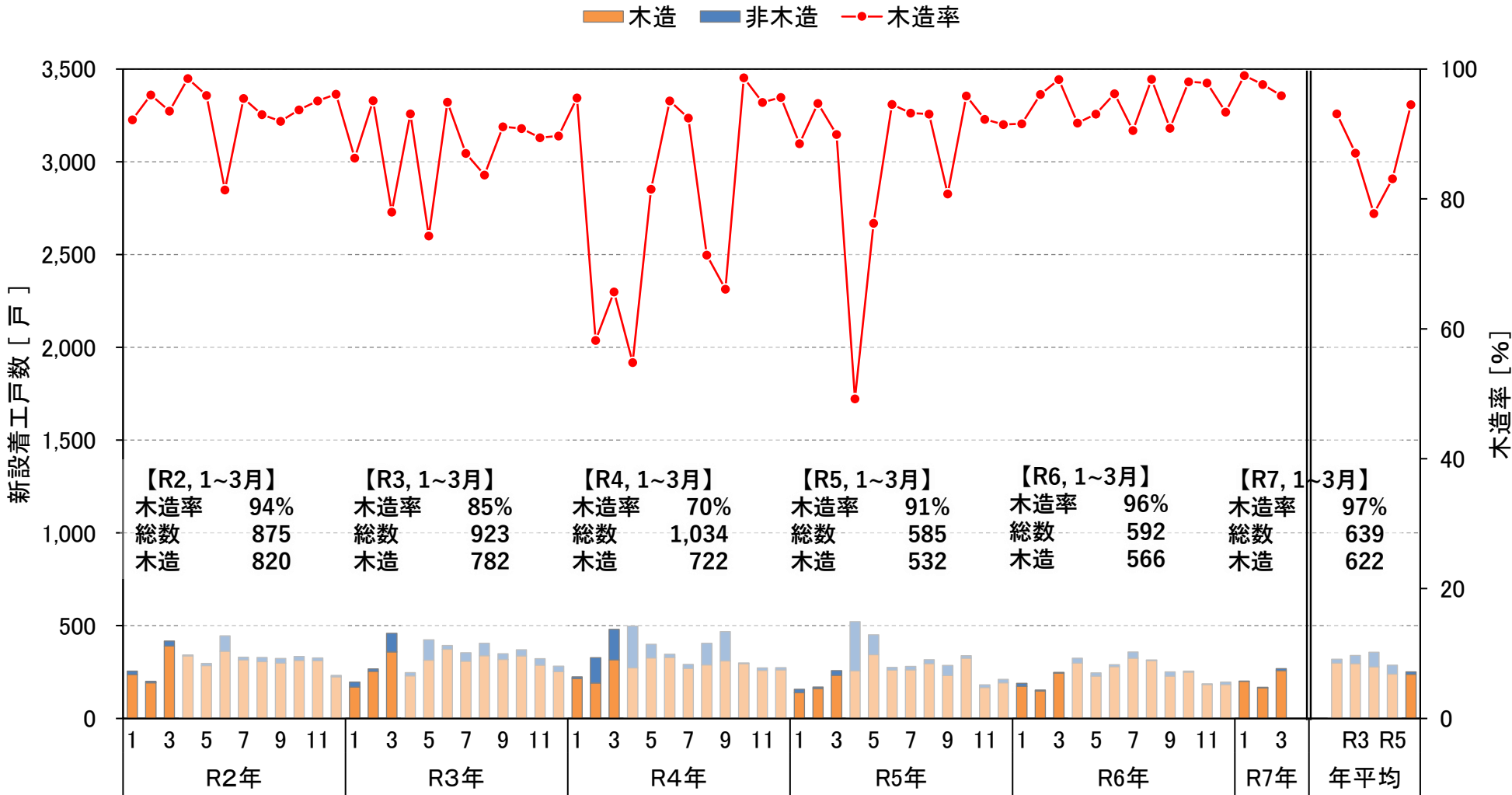
○ 宮城県の令和7年1～3月期の新設住宅着工数は、昨年同期より558戸増加した。
この期間の木造は232戸増加し、木造率は6%減少した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 秋田県の新設住宅着工戸数の推移（令和2年1月～令和7年3月）

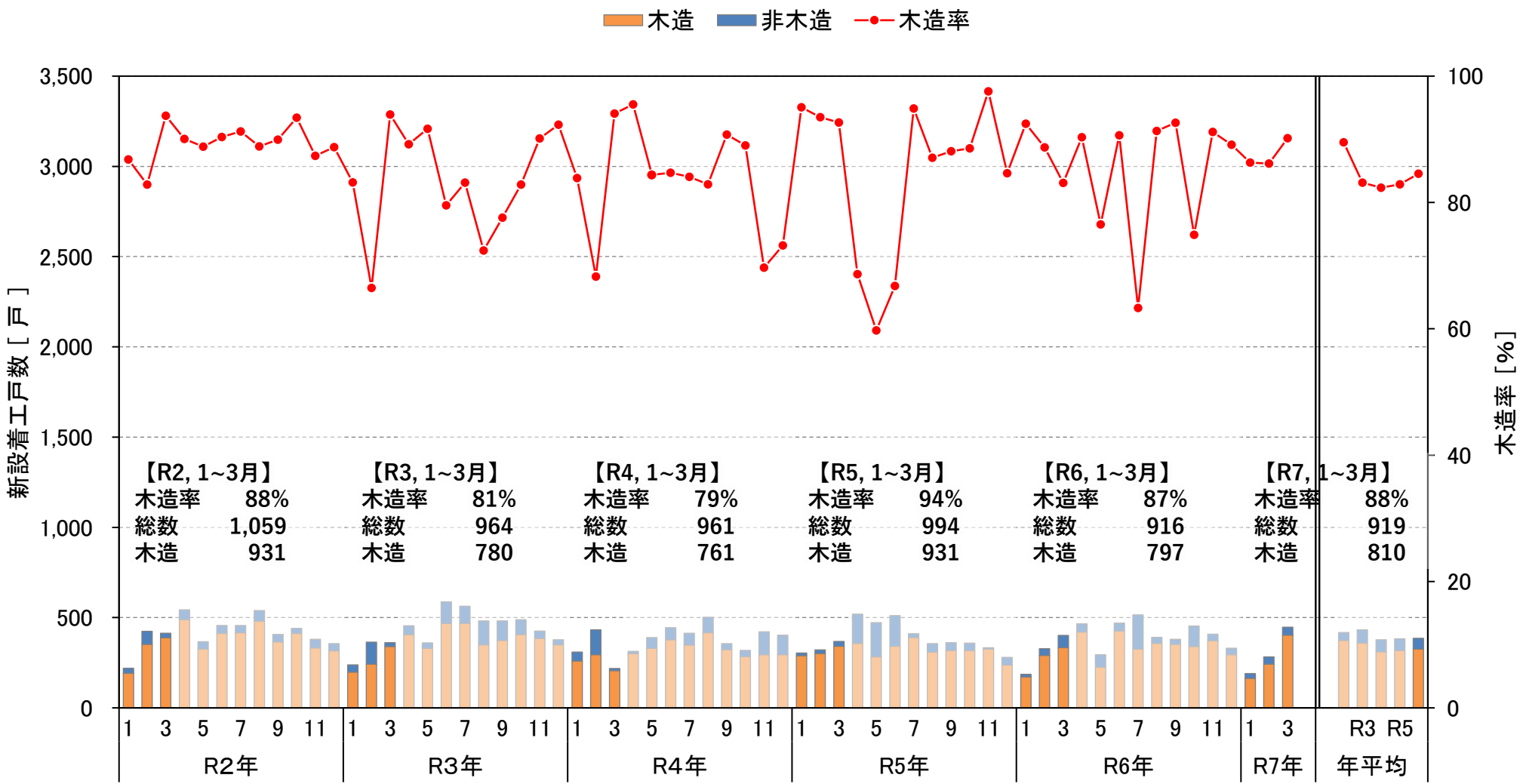
○ 秋田県の令和7年1～3月期の新設住宅着工数は、昨年同期より47戸増加した。
この期間の木造は56戸増加し、木造率は1%増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

山形県の新設住宅着工戸数の推移（令和2年1月～令和7年3月）

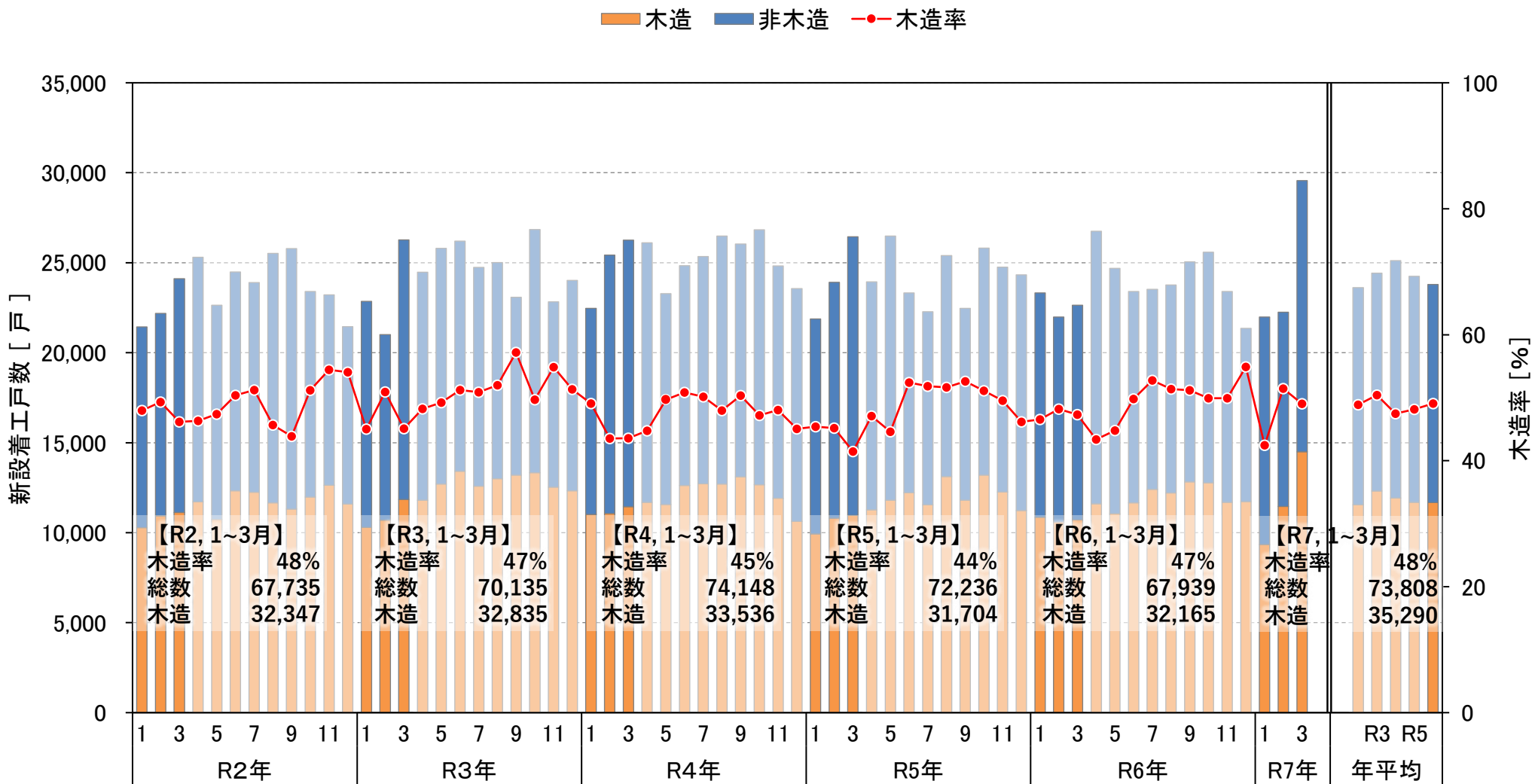
○ 山形県の令和7年1～3月期の新設住宅着工数は、昨年同期より3戸増加した。
この期間の木造は13戸増加し、木造率は1%増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 埼玉、千葉、東京、神奈川の新設住宅着工戸数の推移 (令和2年1月～令和7年3月)

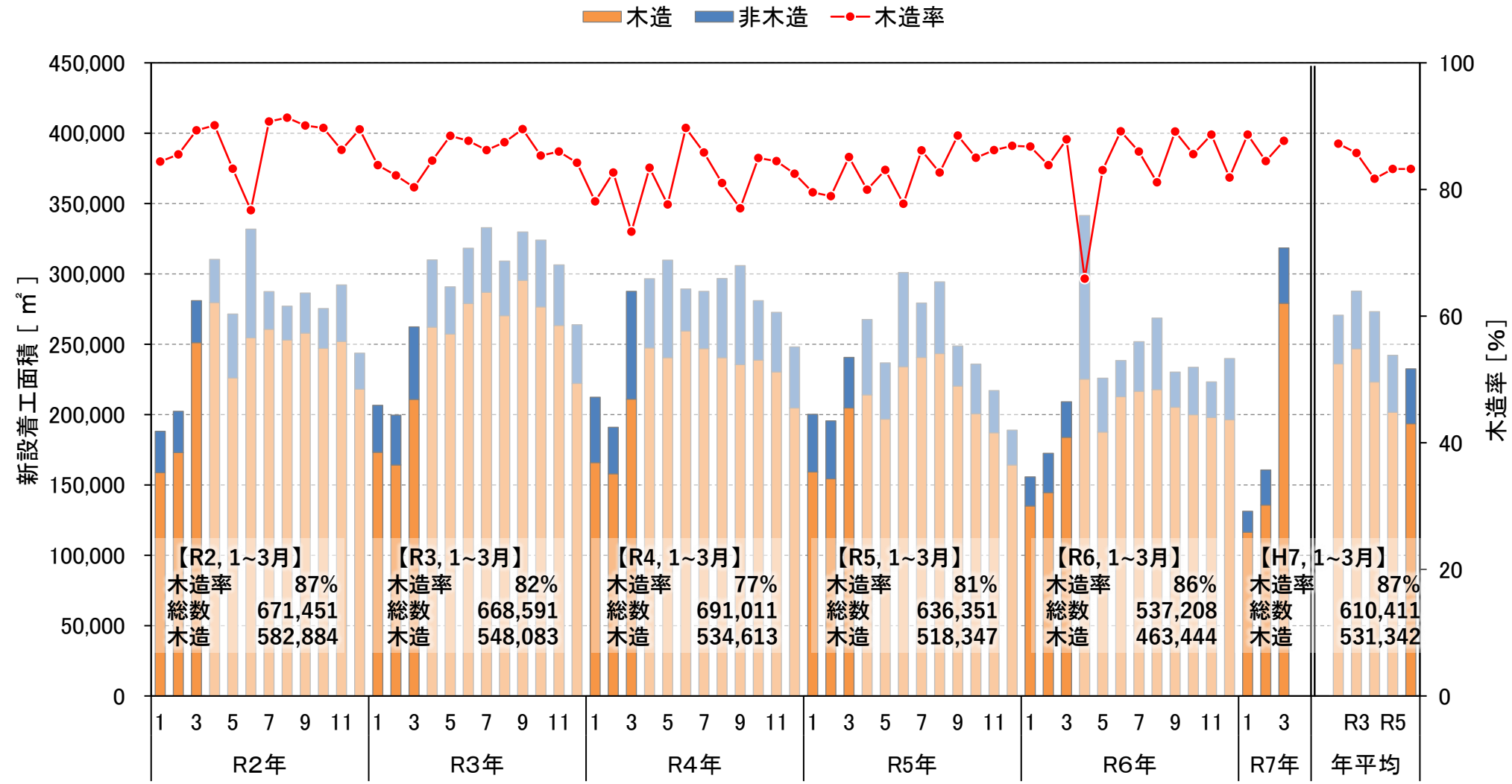
○ 関東主要都市の令和7年1～3月期の新設住宅着工数は、昨年同期より5,869戸(8.6%)増加した。
この期間の木造は3125戸増加し、木造率は1%増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 東北森林管理局管内5県の新設住宅着工面積の推移（令和2年1月～令和7年3月）

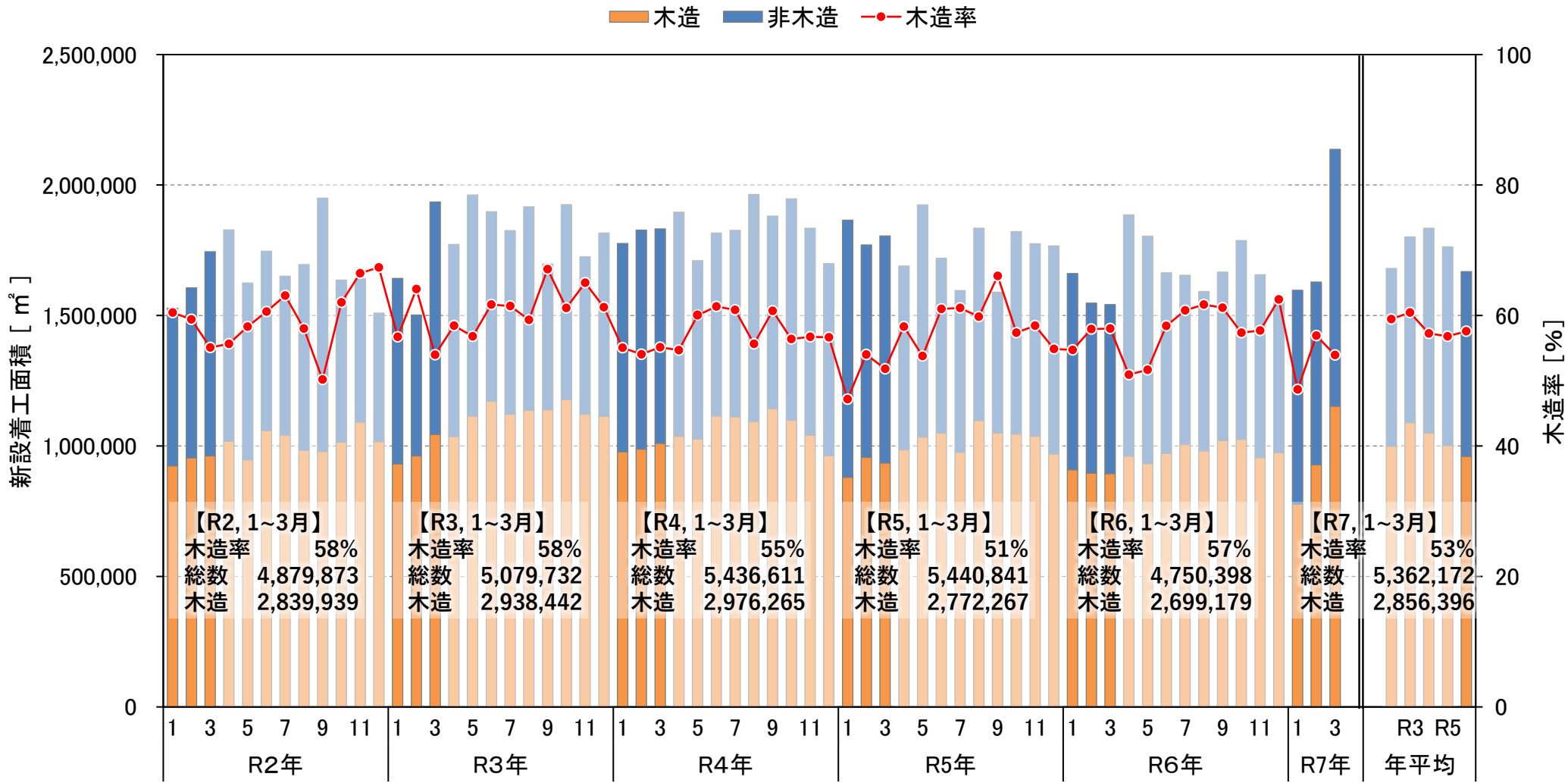
○ 東北5県の令和7年1～3月期の新設住宅着工面積は、昨年同期より73,203m²（13.6%）増加した。
この期間の木造は昨年同期より67,898m²増加し、木造率は1%増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 埼玉、千葉、東京、神奈川の新設住宅着工面積の推移 (令和2年1月～令和7年3月)

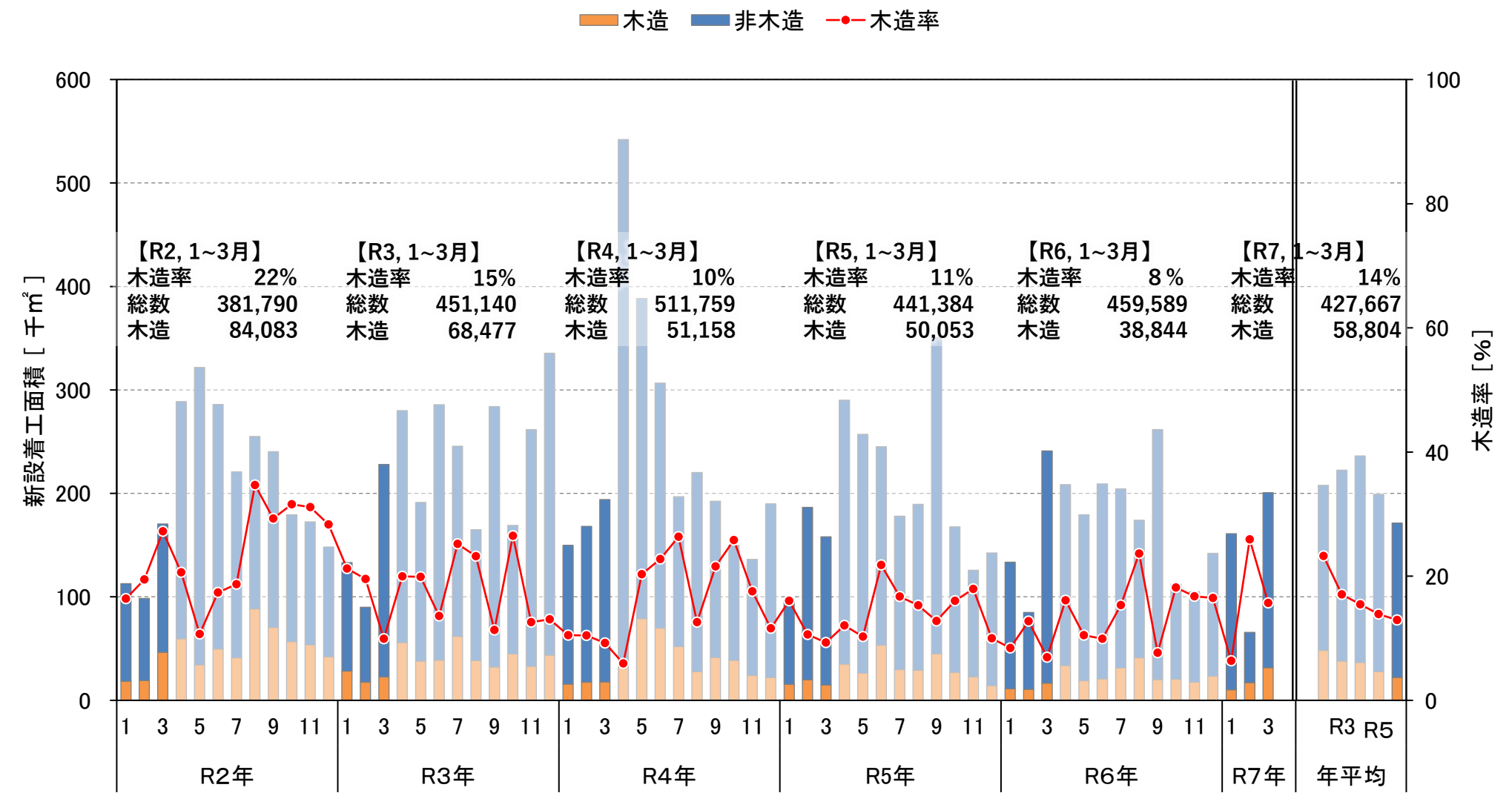
○ 関東主要都市の令和7年1～3月期の新設住宅着工面積は、去年同期より611,774m²(12.9%)増加した。
この期間の木造は157,217m²増加し、木造率は4%減少した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 東北森林管理局管内5県の新設産業用建築物着工面積の推移（令和2年1月～令和7年3月）

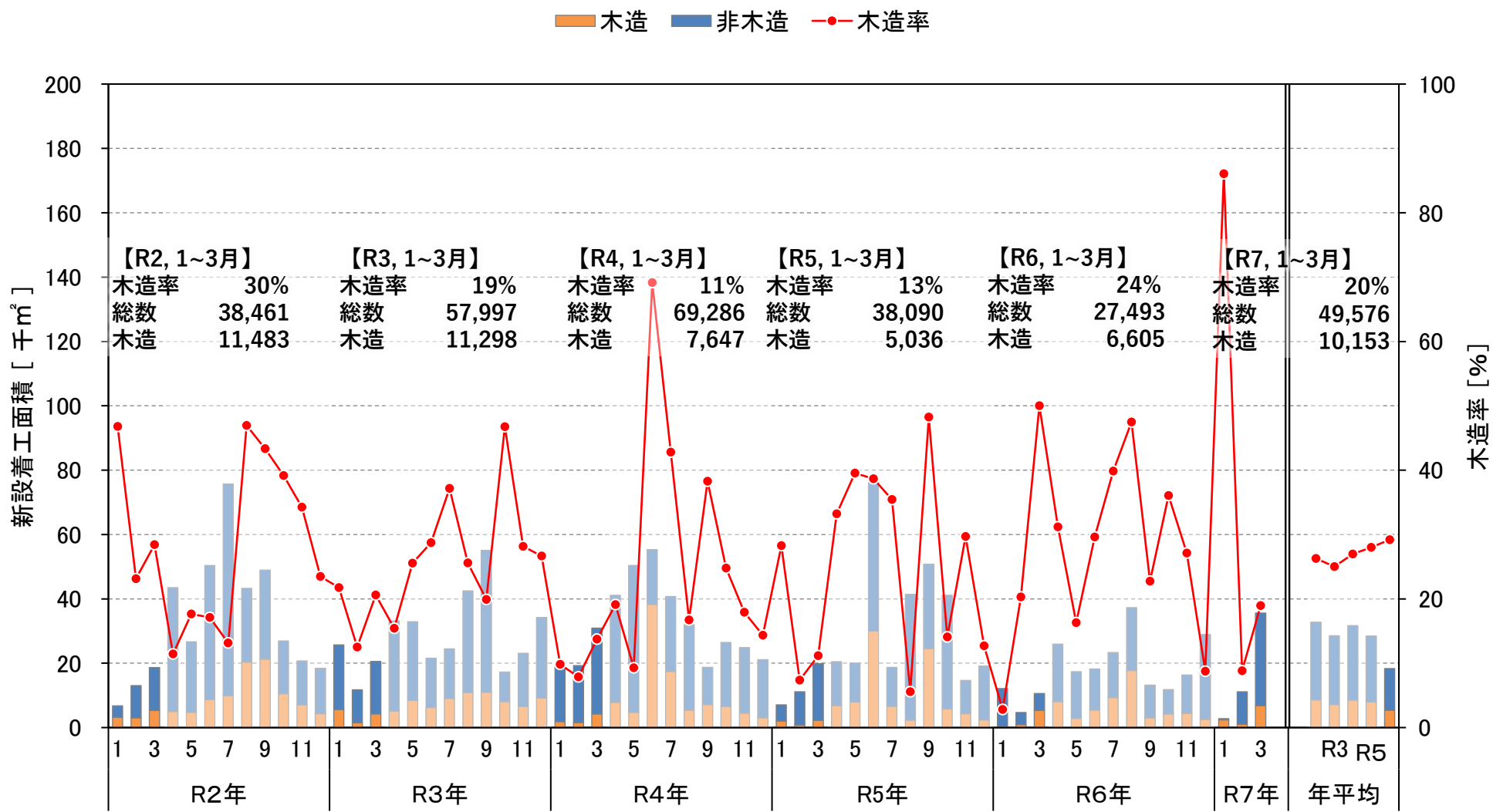
○ 東北5県の令和7年1～3月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より31,922㎡減少した。
この期間の木造は昨年同期より19,960㎡増加し、木造率は6%増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 青森県の新設産業用建築物着工面積の推移（令和2年1月～令和7年3月）

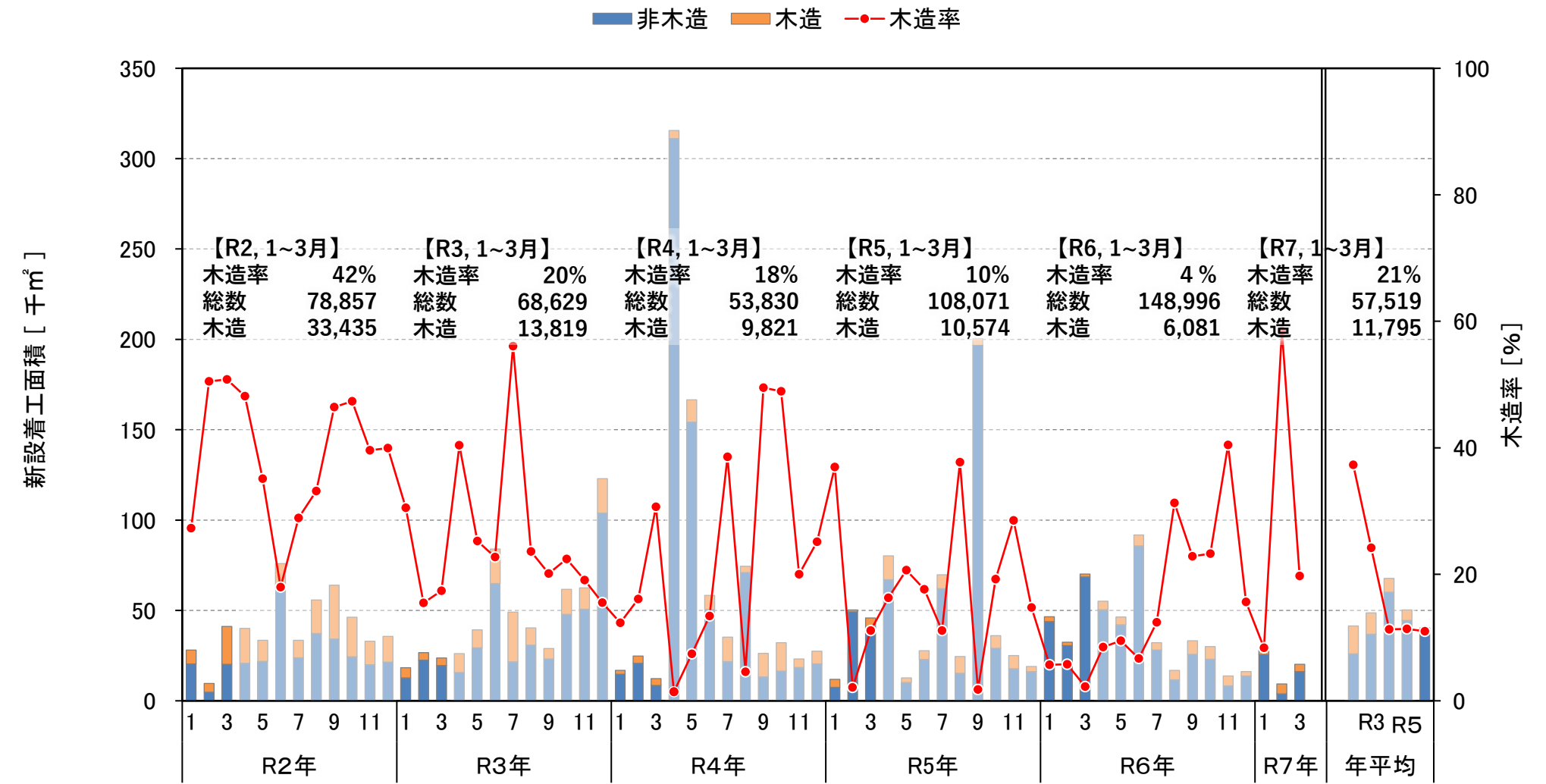
○ 青森県の令和7年1～3月期の新設産業用建築物着工面積は、去年同期より22,083㎡増加した。
この期間の木造は3,548㎡増加し、木造率は4%減少した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 岩手県の新設産業用建築物着工面積の推移（令和2年1月～令和7年3月）

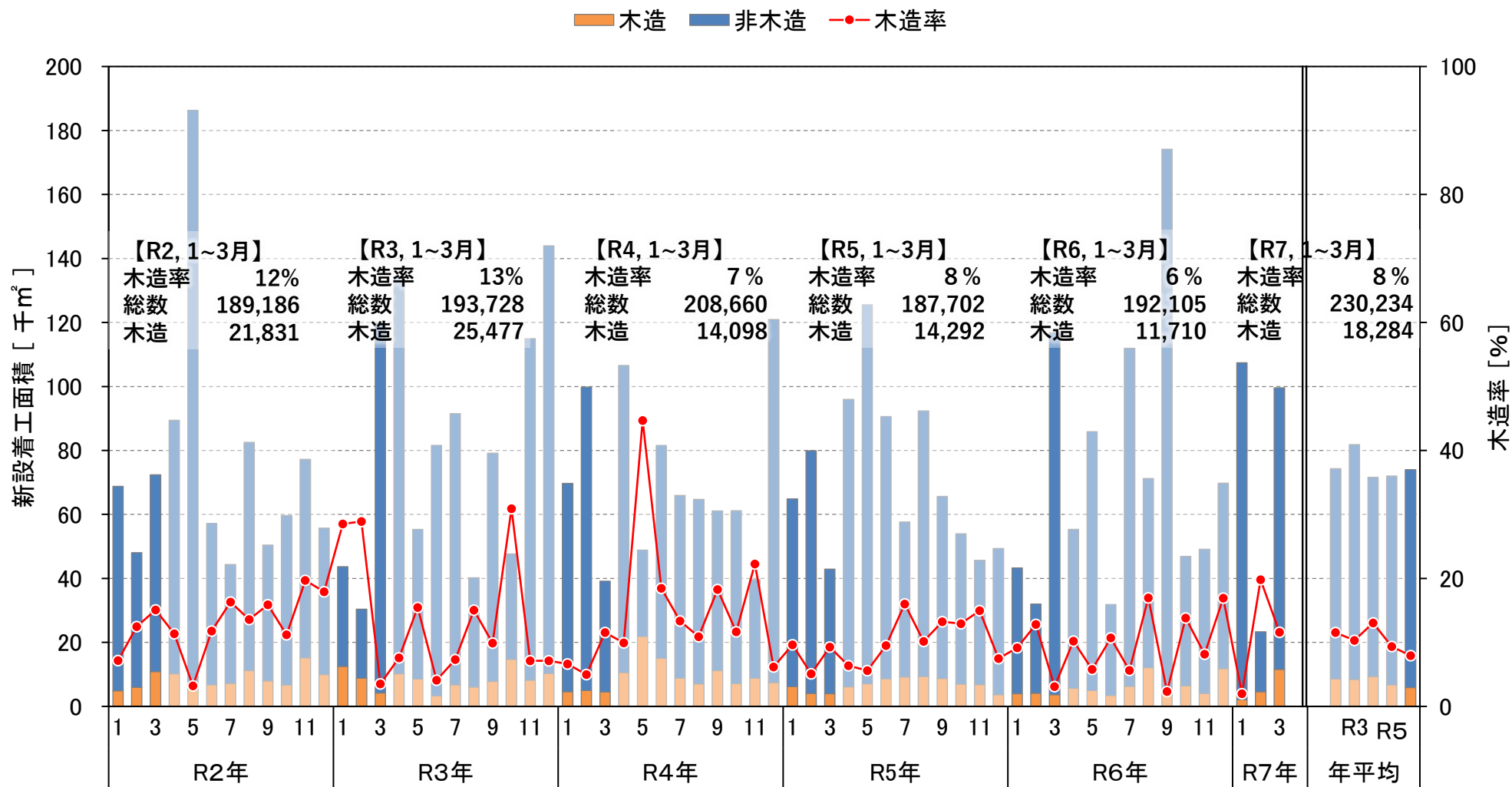
○ 岩手県の令和7年1～3月期の新設産業用建築物着工面積は、去年同期より91,477㎡減少した。
この期間の木造は5,714㎡増加し、木造率は16%増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

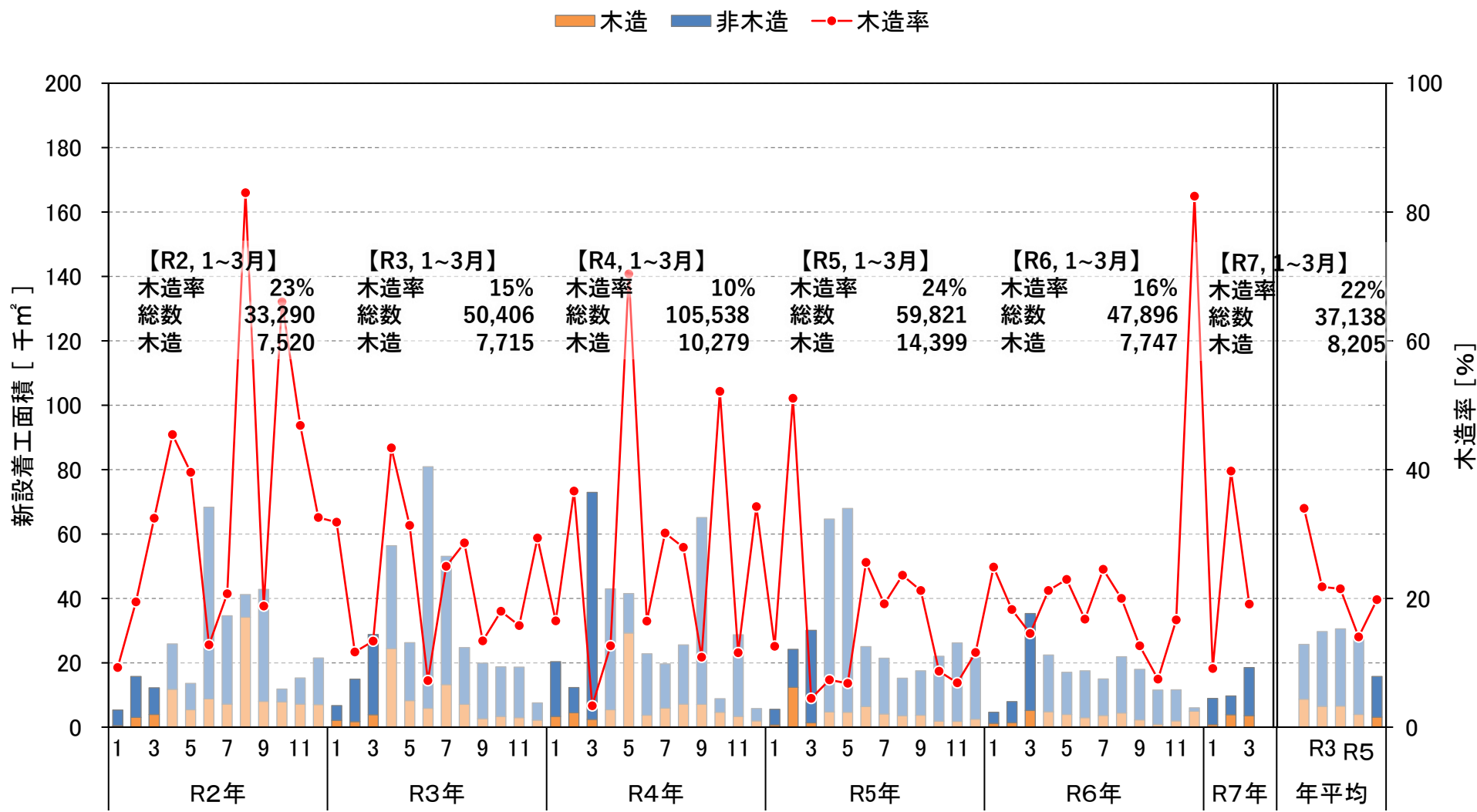
■ 宮城県の新設産業用建築物着工面積の推移（令和2年1月～令和7年3月）

○ 宮城県の令和7年1～3月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より38,129㎡増加した。
この期間の木造は6,574㎡増加し、木造率は2%増加した。



■ 秋田県の新設産業用建築物着工面積の推移（令和2年1月～令和7年3月）

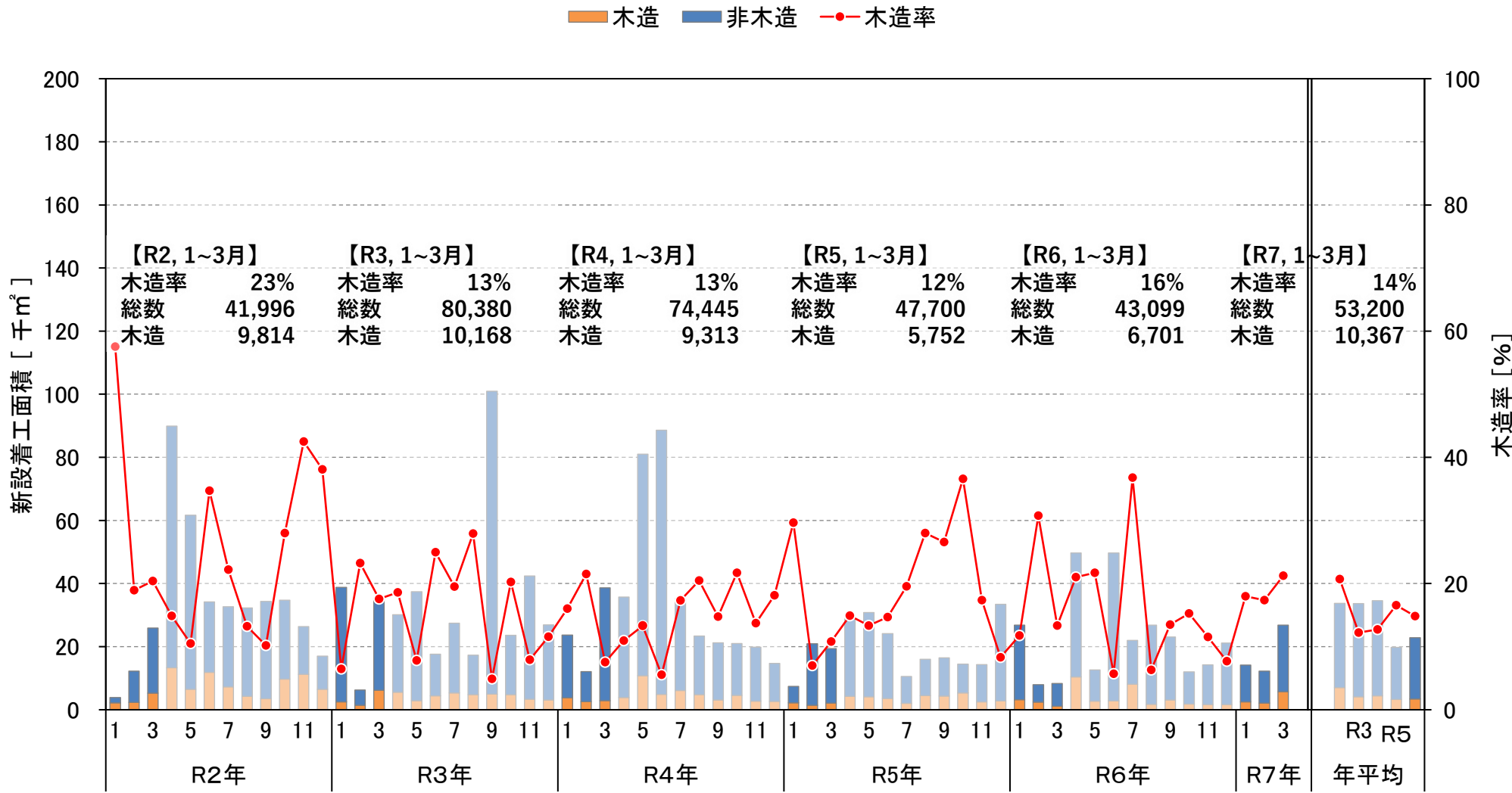
○ 秋田県の令和7年1～3月期の新設産業用建築物着工面積は、去年同期より10,758㎡減少した。
この期間の木造は458㎡増加し、木造率は6%増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

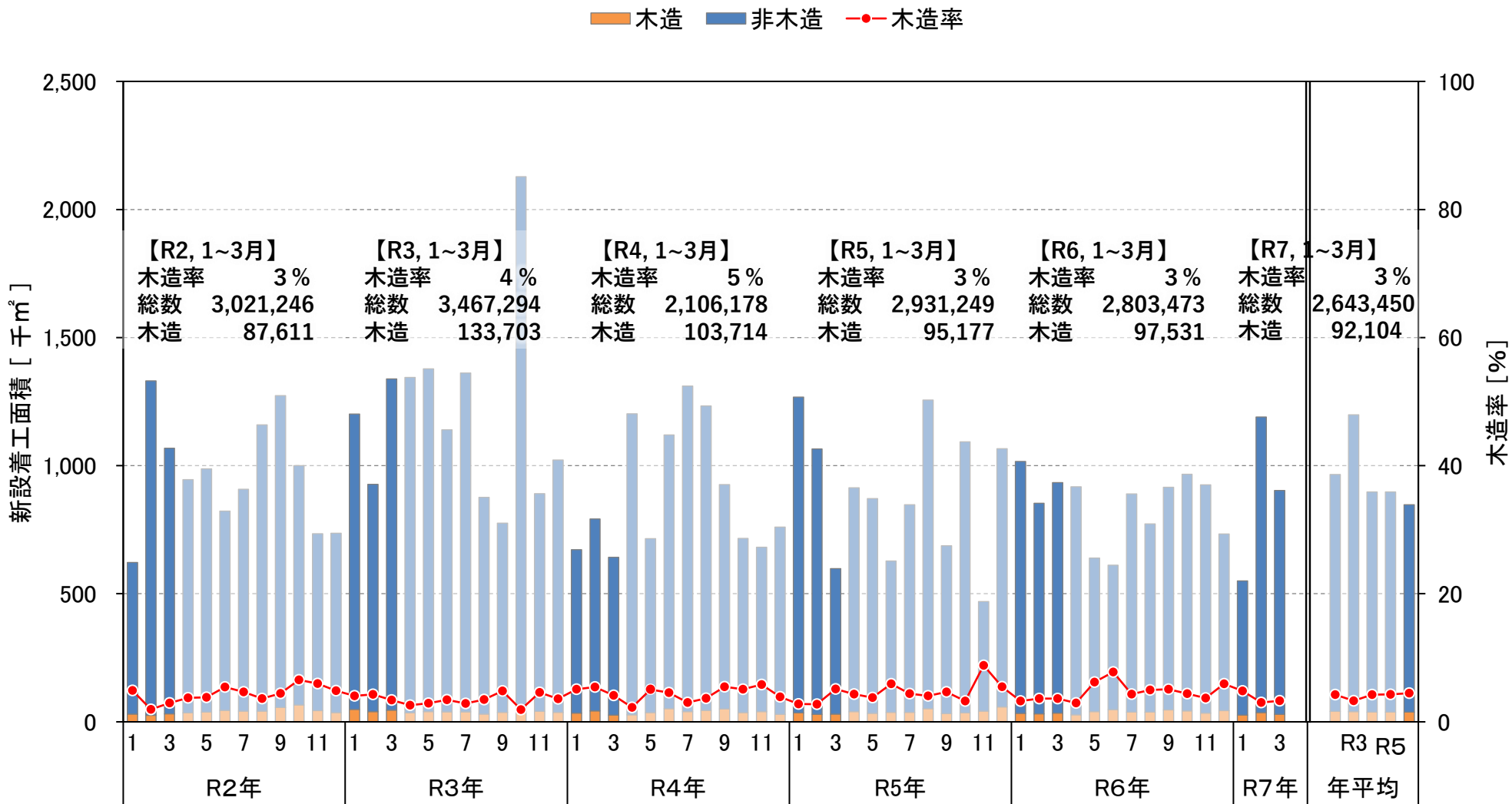
山形県の新設産業用建築物着工面積の推移（令和2年1月～令和7年3月）

○ 山形県の令和7年1～3月期の新設産業用建築物着工面積は、去年同期より10,101㎡増加した。
この期間の木造は3,666㎡増加し、木造率は2%減少した。



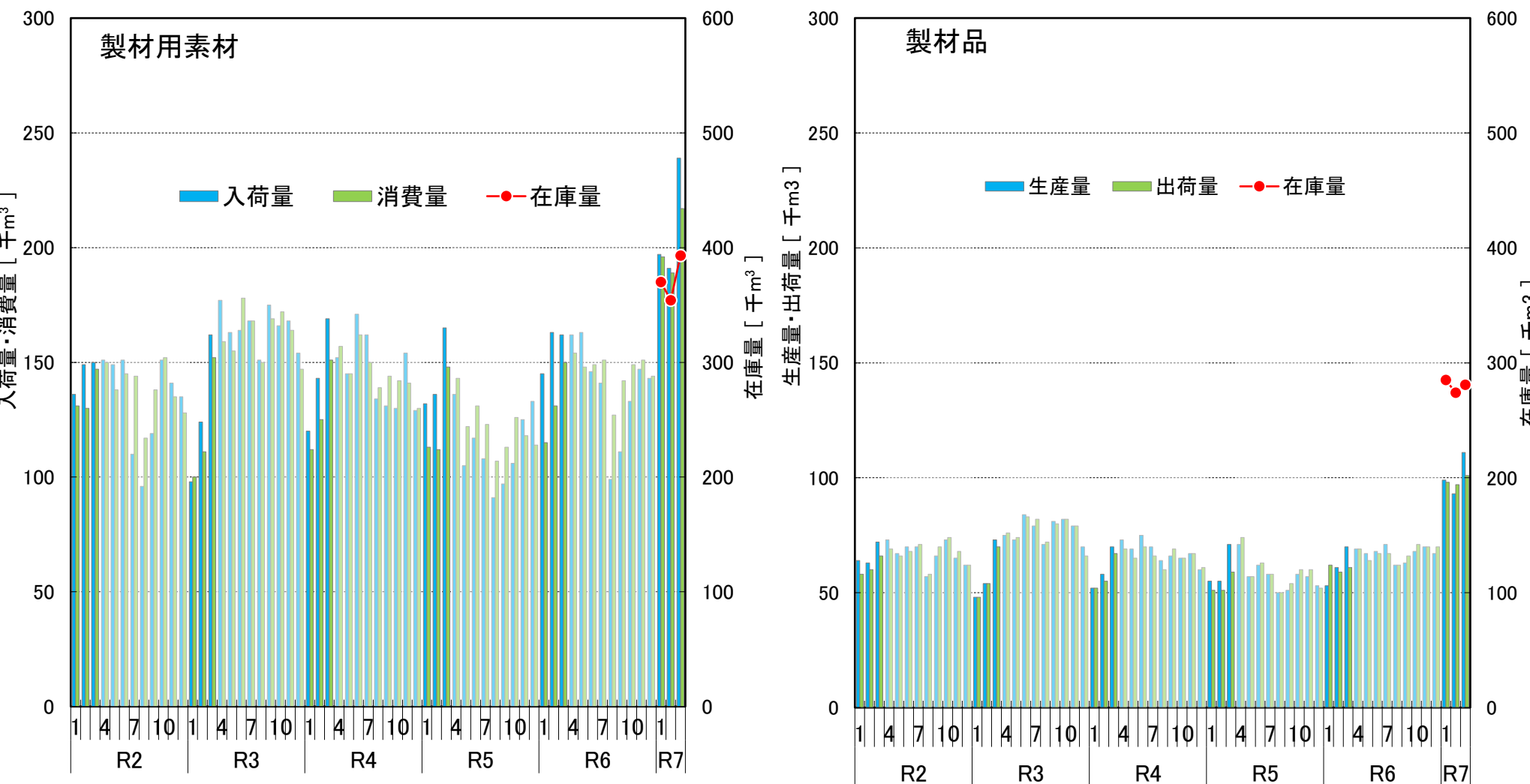
■ 埼玉、千葉、東京、神奈川の新設産業用建築物着工面積の推移（令和2年1月～令和7年3月）

○ 関東主要都市の令和7年1～3月期の新設住宅着工数は、去年同期より160,023㎡減少した。
この期間の木造は5,427㎡減少し、木造率は±0%だった。



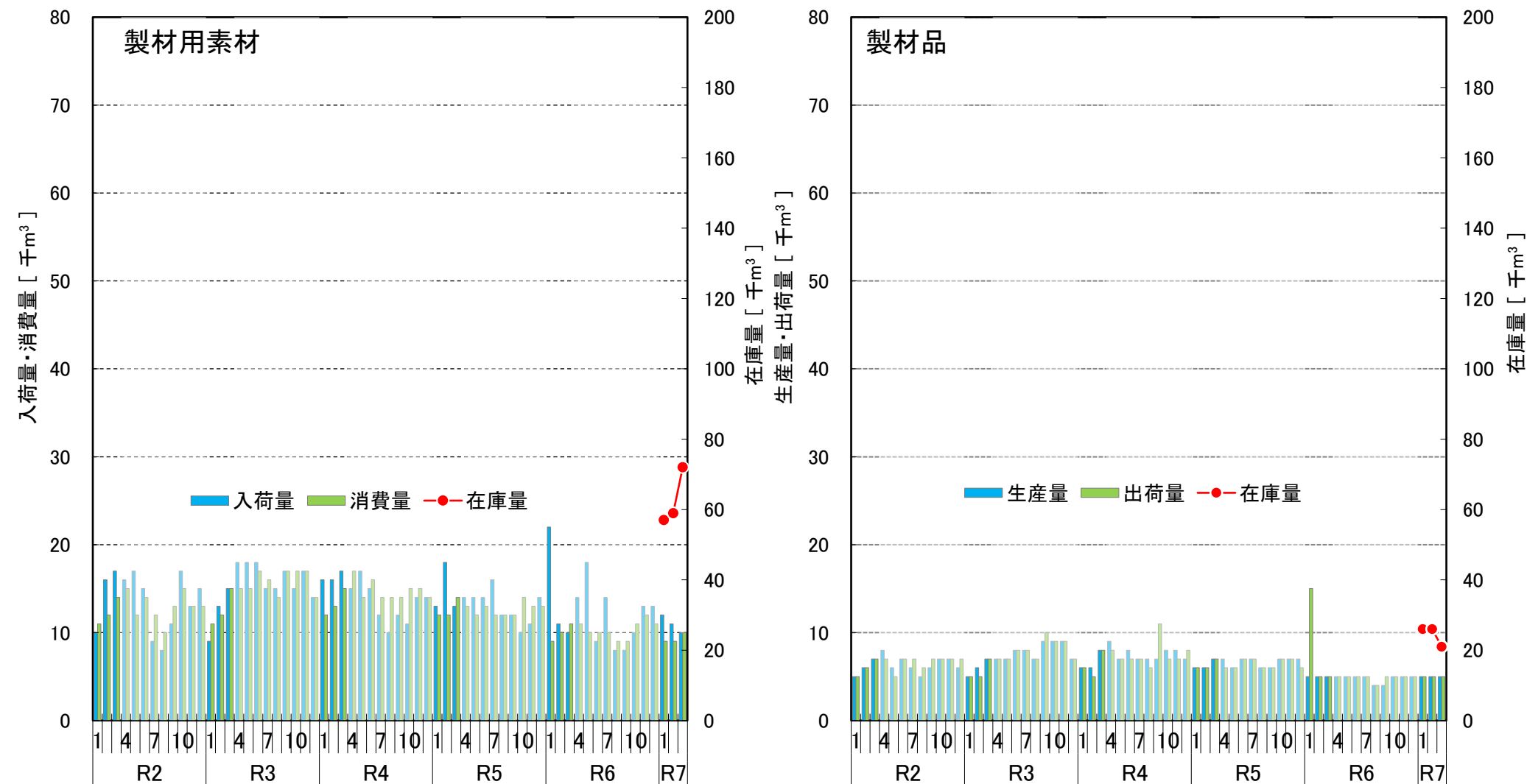
■ 東北5県の製材用素材・製材品の生産量等の推移（令和2年1月～令和7年3月）

- 東北5県の製材用素材の令和7年1～3月の入荷量は去年同期比＋33%、消費量は＋52%
- 製材品の令和7年1～3月の生産量は去年同期比＋65%、出荷量は＋63%。



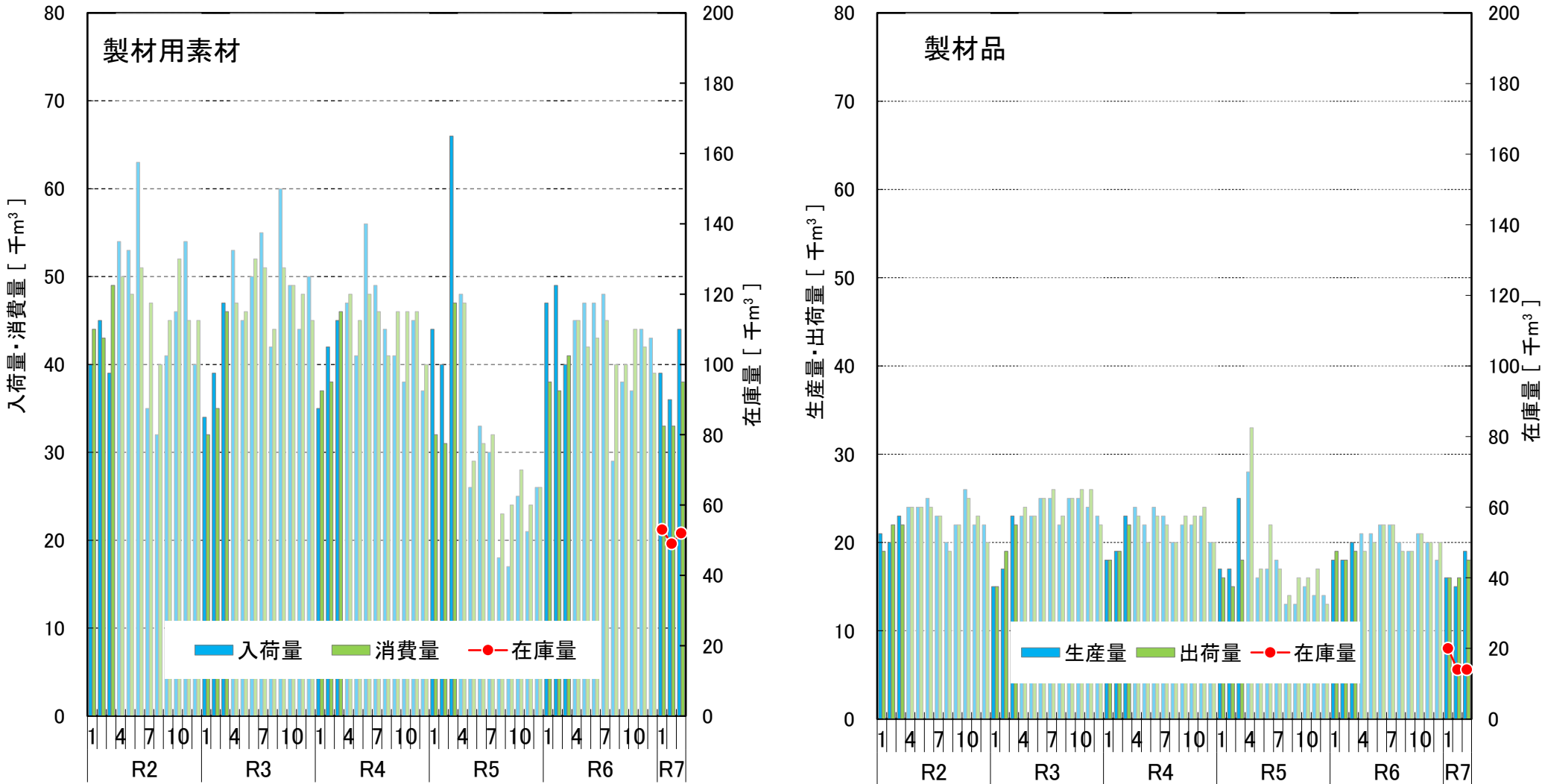
■ 青森県の製材用素材・製材品の生産量等の推移（令和2年1月～令和7年3月）

- 製材用素材の令和7年1～3月の入荷量は昨年同期比－23%、消費量は－7%。
- 製材品の令和7年1～3月の生産量は昨年同期比±0%、出荷量は－40%。



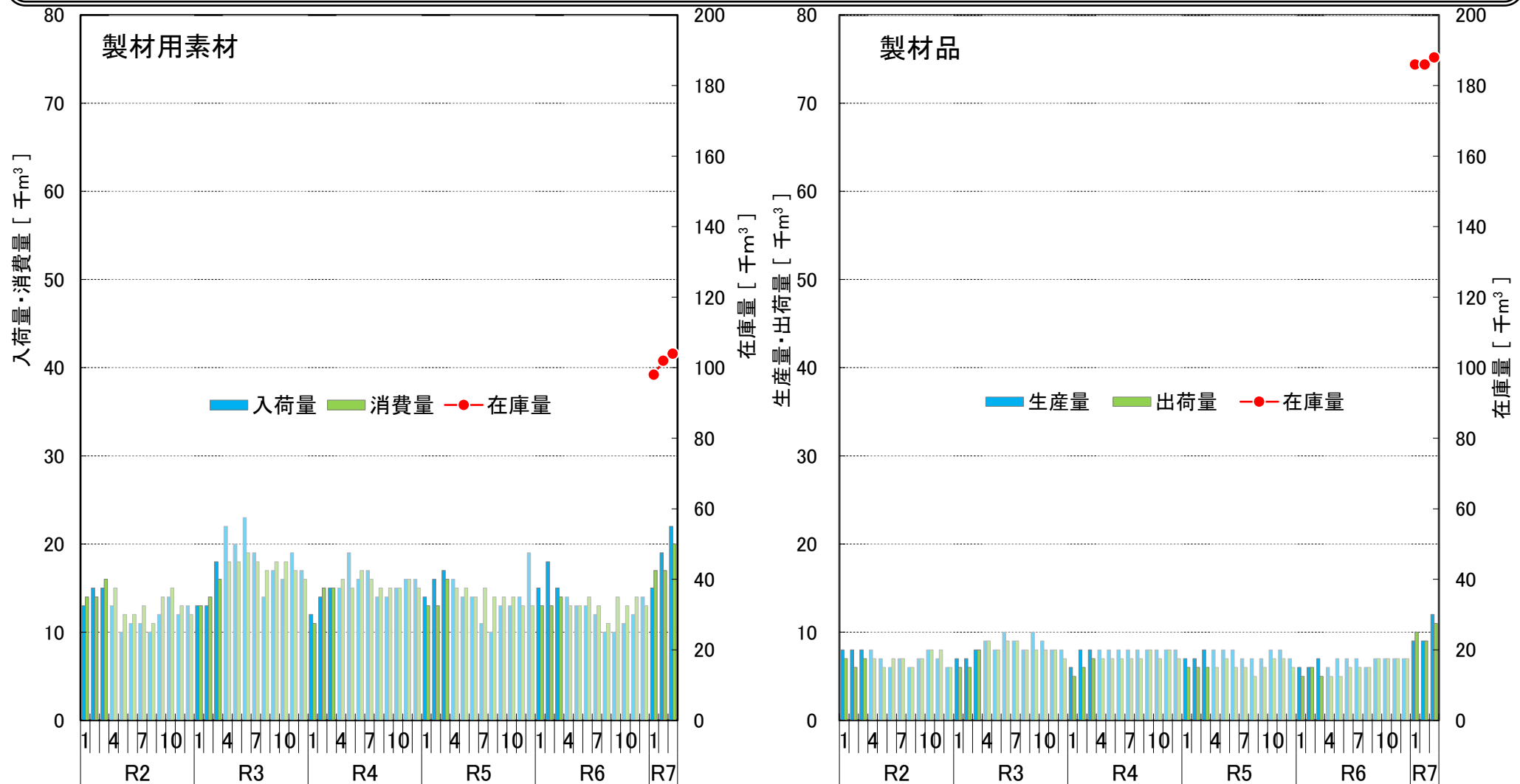
■ 岩手県の製材用素材・製材品の生産量等の推移（令和2年1月～令和7年3月）

- 製材用素材の令和7年1～3月の入荷量は去年同期比－12%、消費量は－10%。
- 製材品の令和7年1～3月の生産量は去年同期比－11%、出荷量は－11%。



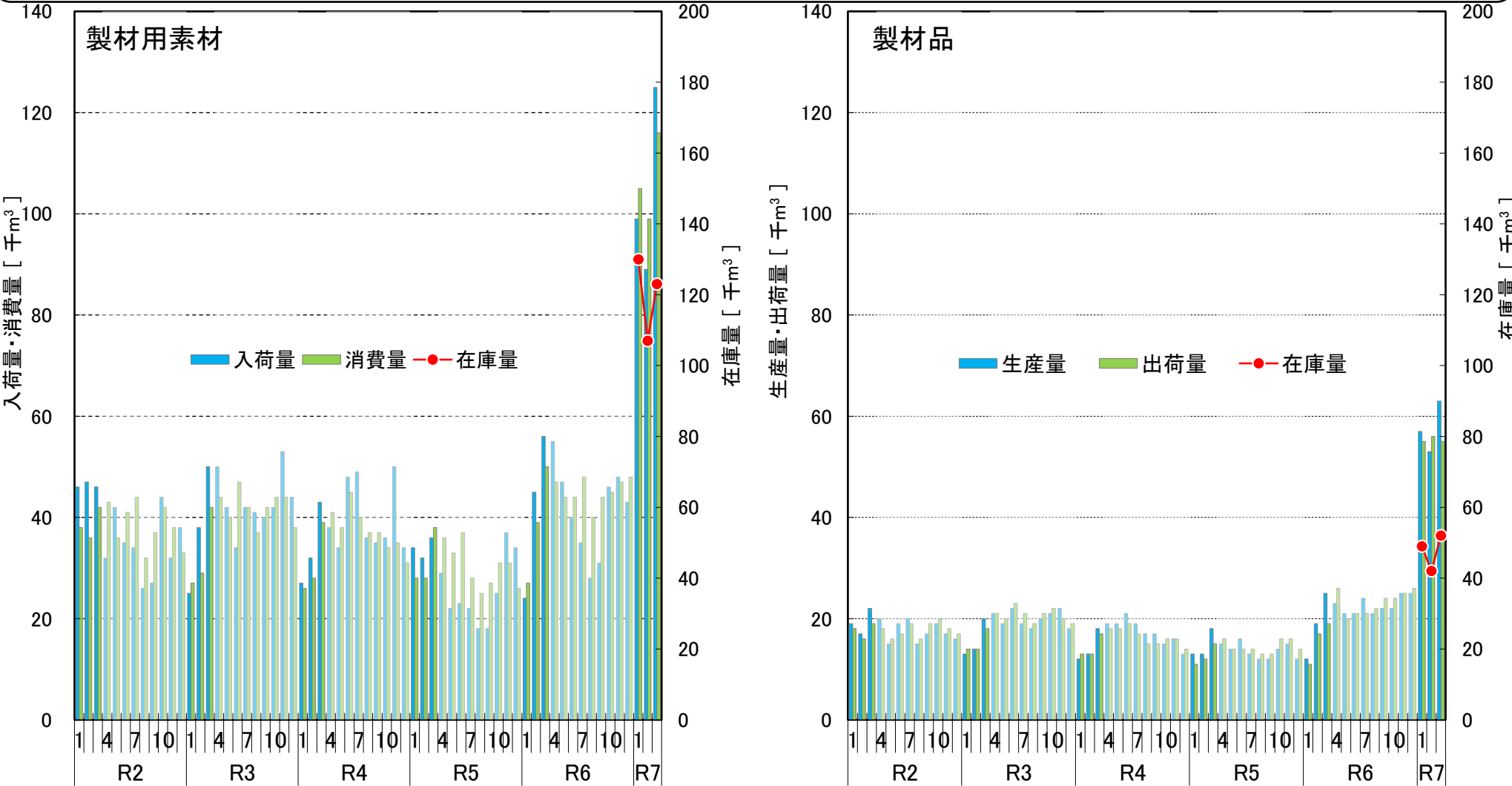
宮城県の製材用素材・製材品の生産量等の推移（令和2年1月～令和7年3月）

- 製材用素材の令和7年1～3月の入荷量は昨年同期比＋17%、消費量は＋35%。
- 製材品の令和7年1～3月の生産量は昨年同期比＋58%、出荷量は＋88%。



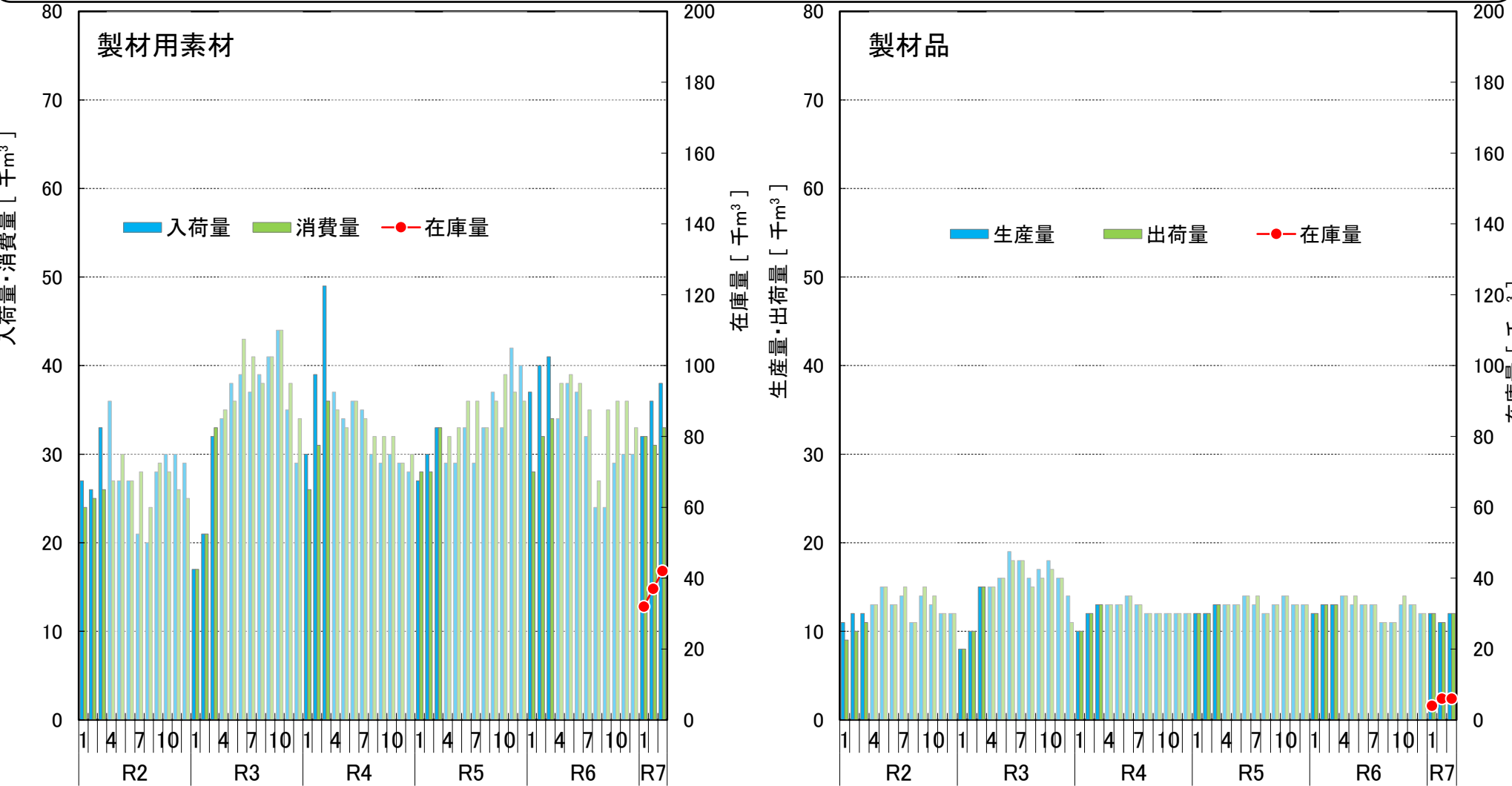
■ 秋田県の製材用素材・製材品の生産量等の推移（令和2年1月～令和7年3月）

○ 製材用素材の令和7年1～3月の入荷量は昨年同期比＋150%、消費量は＋176%。
○ 製材品の令和7年1～3月の生産量は昨年同期比＋209%、出荷量は＋253%。



山形県の製材用素材・製材品の生産量等の推移（令和2年1月～令和7年3月）

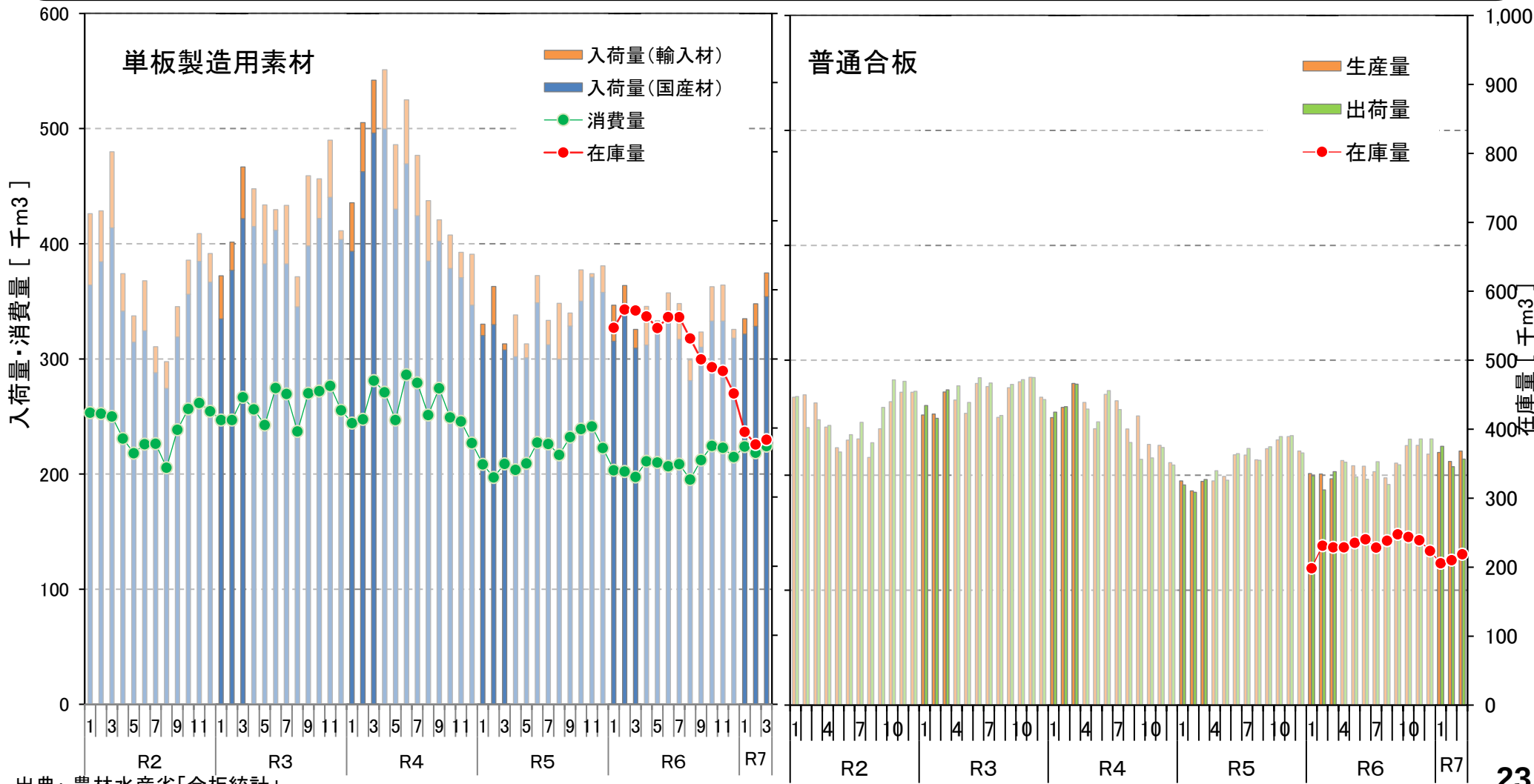
○ 製材用素材の令和7年1～3月の入荷量は昨年同期比－10%、消費量は＋2%。
○ 製材品の令和7年1～3月の生産量は昨年同期比－8%、出荷量は－8%。



■ 全国の単板製造用素材・普通合板の生産量等の推移（令和2年1月～令和7年3月）

○ 単板製造用素材の令和7年1～3月期の入荷量は去年同期比＋2%、うち国産材は＋3%、消費量は＋11%、在庫量は3月比－33%。

○ 普通合板の令和7年1～3月期の生産量は去年同期比＋9%、出荷量は＋10%、在庫量は3月比－4%。

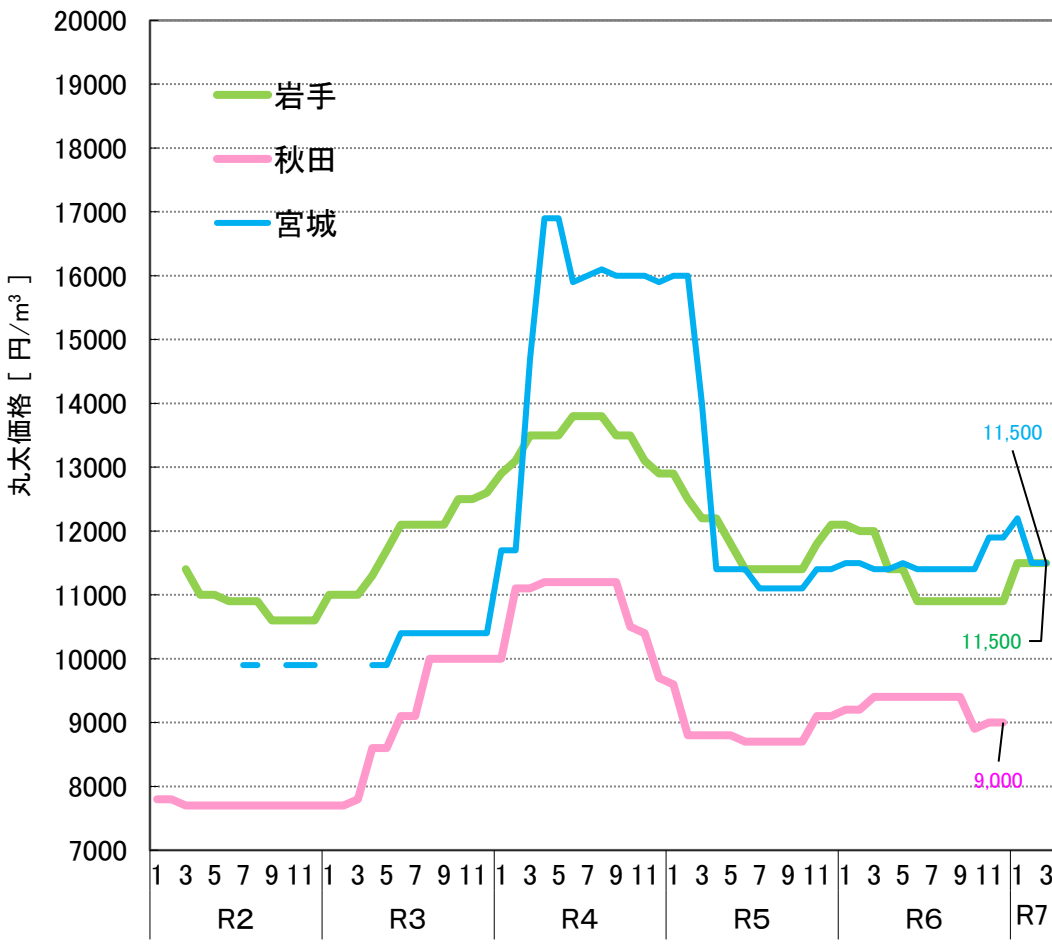


出典：農林水産省「合板統計」

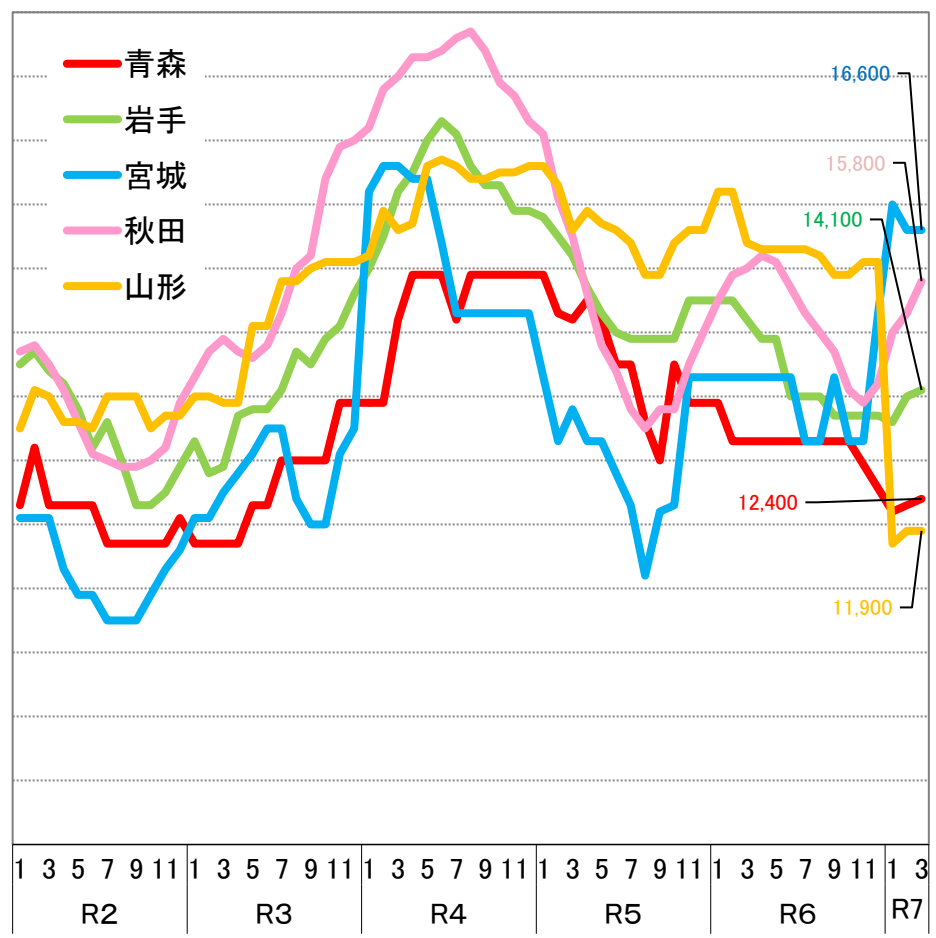
■ すぎ丸太価格の推移（令和2年1月～令和7年3月）

○ すぎ小丸太価格は年明け以降、岩手で横ばい、宮城で値下がりから横ばいである。秋田県はデータなし。
○ すぎ中丸太価格は年明け以降、全体的に値上げの傾向だが、山形は12月から1月にかけて下落。

すぎ小丸太 3.65～4.00m（8～13cm）



すぎ中丸太 3.65～4.00m（24～28cm）

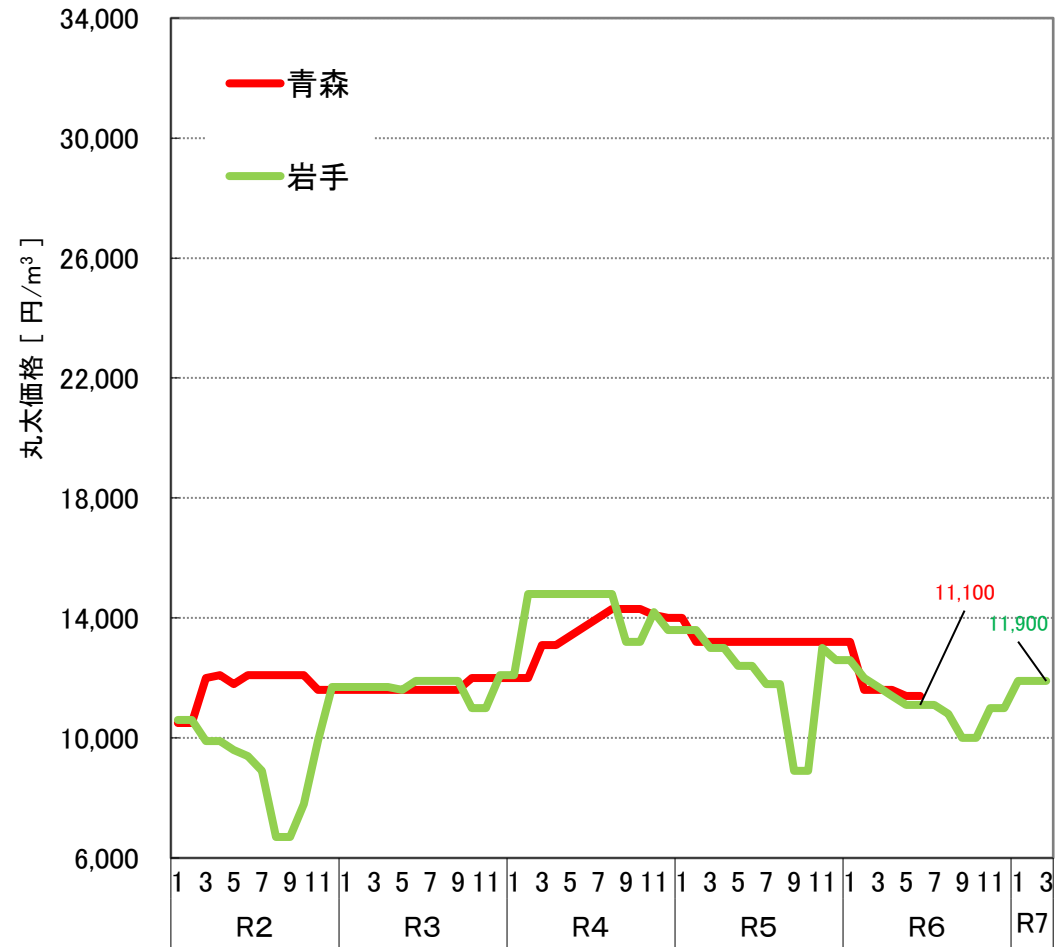


出典：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」 ※ 工場着価格。

■ まつ・からまつ丸太価格の推移（令和2年1月～令和7年3月）

○まつ中丸太価格は、岩手では年明け以降横ばい。青森は7月以降データなし。
○ からまつ丸太価格は年明け以降、北海道・岩手ともに強含み。岩手と北海道の価格差は9,700円。

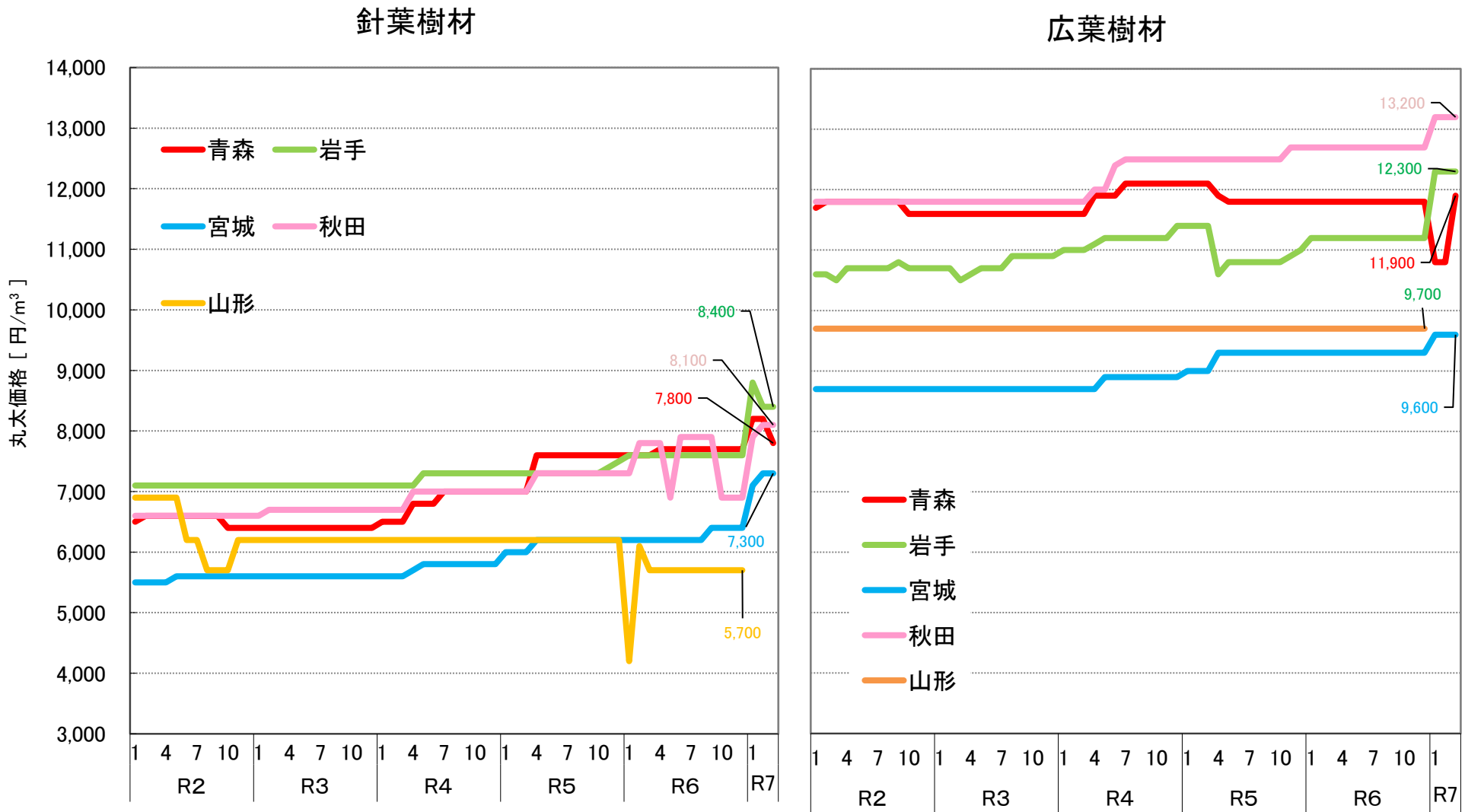
まつ中丸太 3.65～4.00m（24～28cm）



■チップ用丸太価格の推移（令和2年1月～令和7年3月）

○チップ用針葉樹は、12月から1月にかけて10%程度の値上げ。

○広葉樹材も12月から1月にかけて青森県のみ下落、年明け以降は全県で強保合。



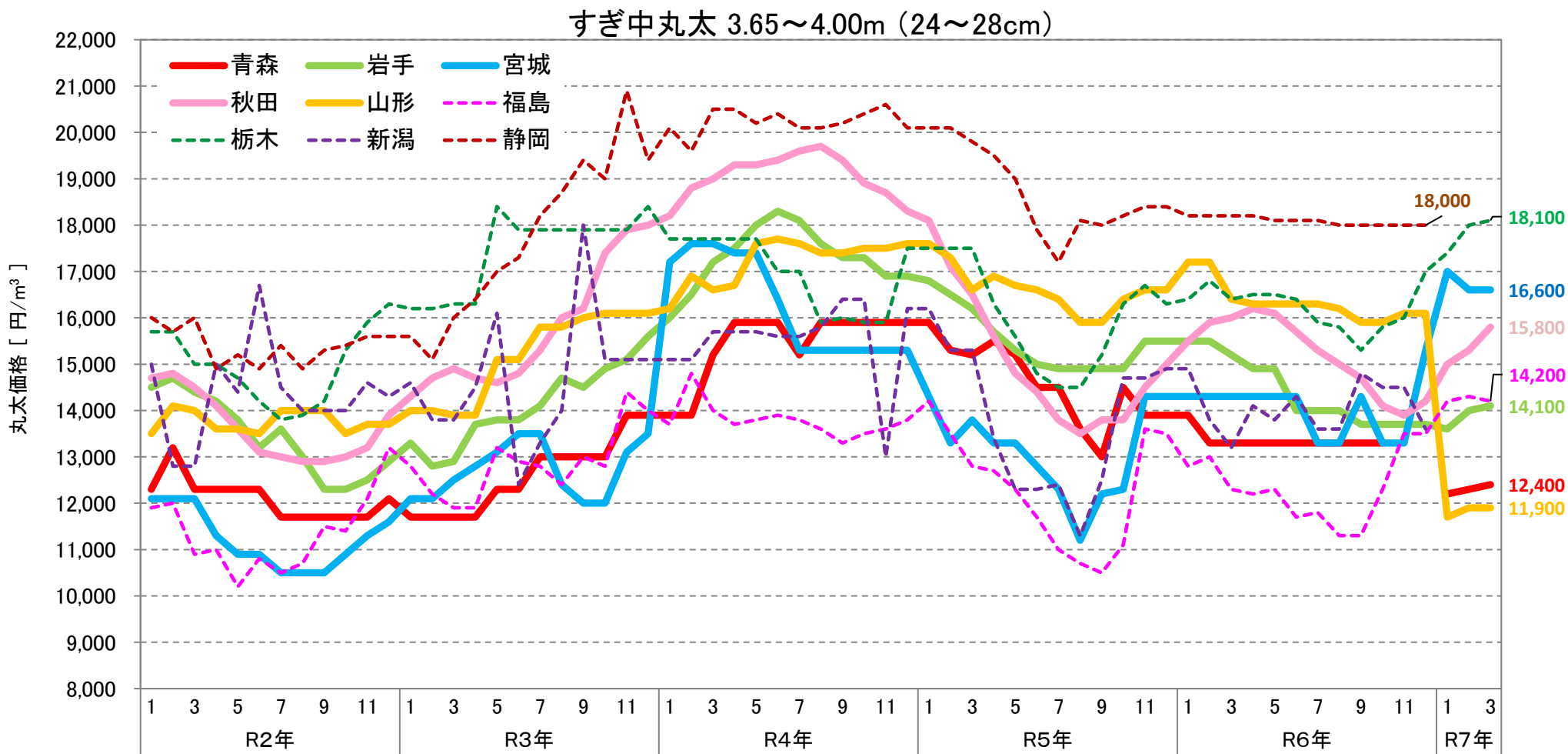
- 針葉樹合板価格は、1,400円/枚。
- 合板用素材価格は、年明け以降強含みの傾向にあるものの、宮城では値下げにある。



27

■ 関東地方との木材価格の比較（令和2年1月～令和7年3月）

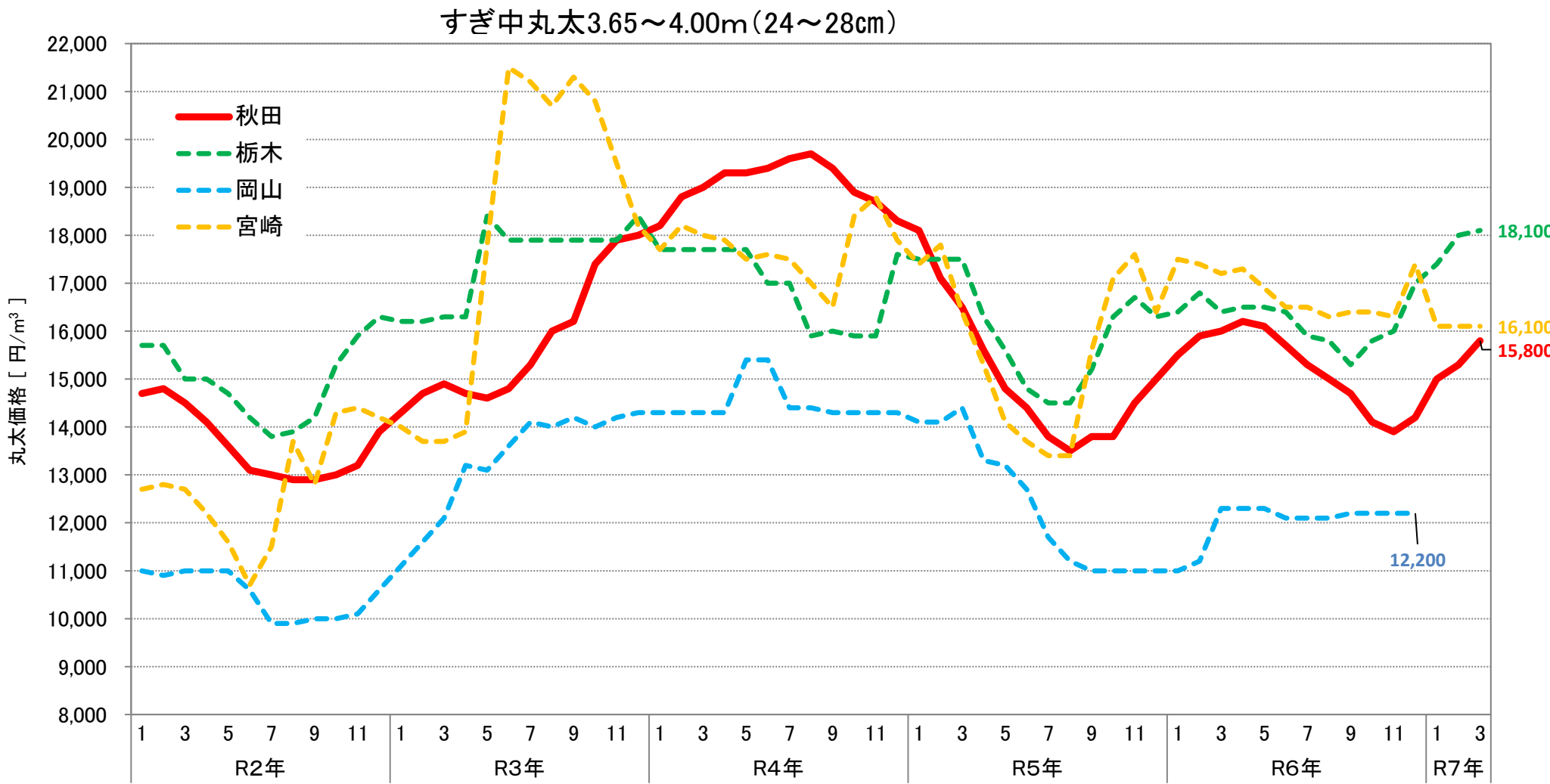
○ すぎ中丸太の価格は、年明け以降各県で強保合～強基調の傾向がみられているが、青森と山形では12月から1月にかけて下落している。



出典：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」 ※ 工場着価格。

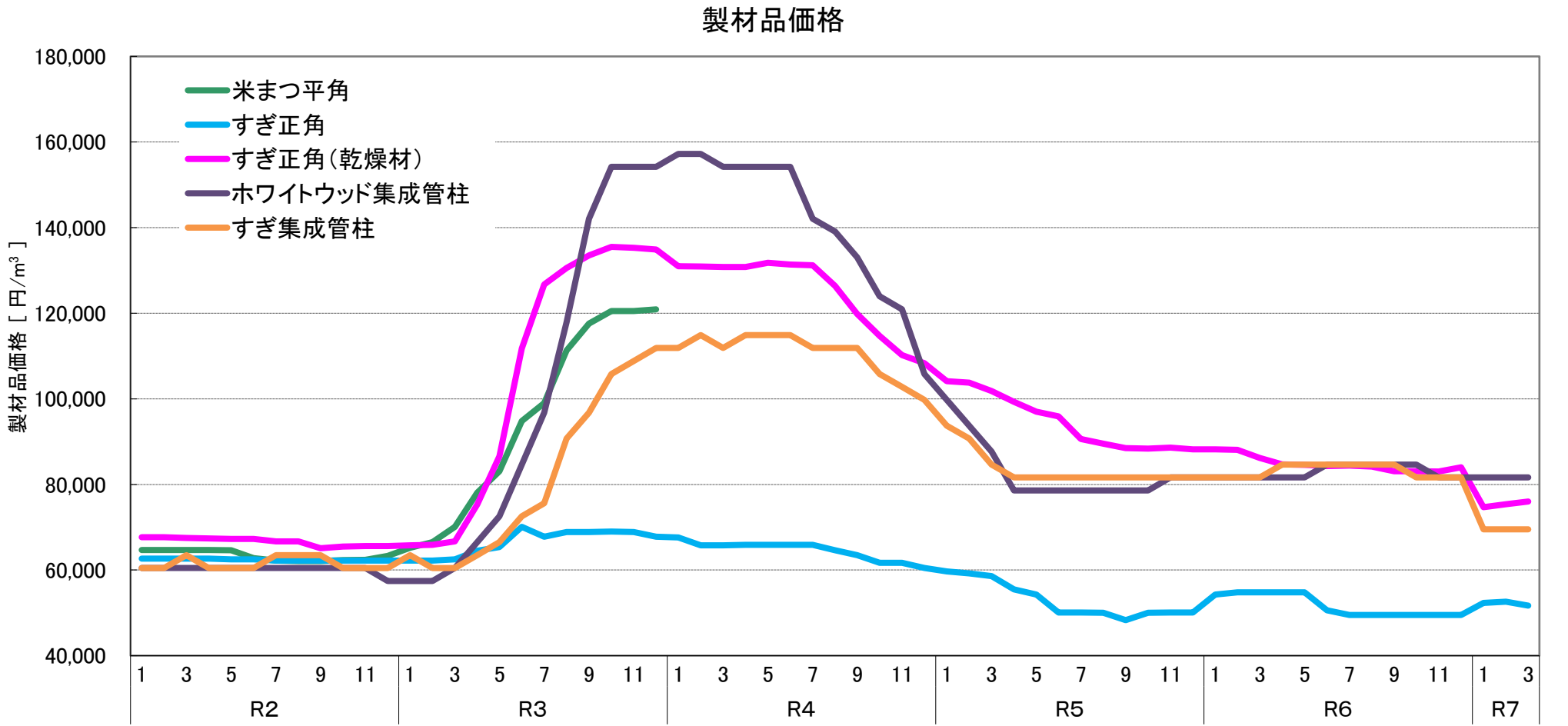
■ 関東、関西、九州地方との木材価格の比較（令和2年1月～令和7年3月）

○ 年明け以降秋田、栃木は強保合～強基調の傾向にあるが、宮崎は横ばいにある。



■ 全国の製材品主要品目価格の推移（令和2年1月～令和7年3月）

○ すぎ正角（乾燥材）とすぎ集成管柱の価格は12月から1月にかけて下落し、年明け以降は横ばい。
 すぎ正角とWウッド集成管柱は昨年以降ほぼ同価格・横ばい。



出典：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

※1 価格は、令和2年1月以降のホワイトウッド集成管柱及びすぎ集成管柱は集成材工場出荷時の販売価格、それ以外は木材市売市場、木材センター及び木材卸売業者における小売業者への店頭渡し価格となる。

※2 令和2年1月から、ホワイトウッド集成管柱は規格及び調査都道府県、調査対象工場の見直しを行い、調査価格も※1の通り変更となったことから、令和元年12月以前の数値とは接続しない。

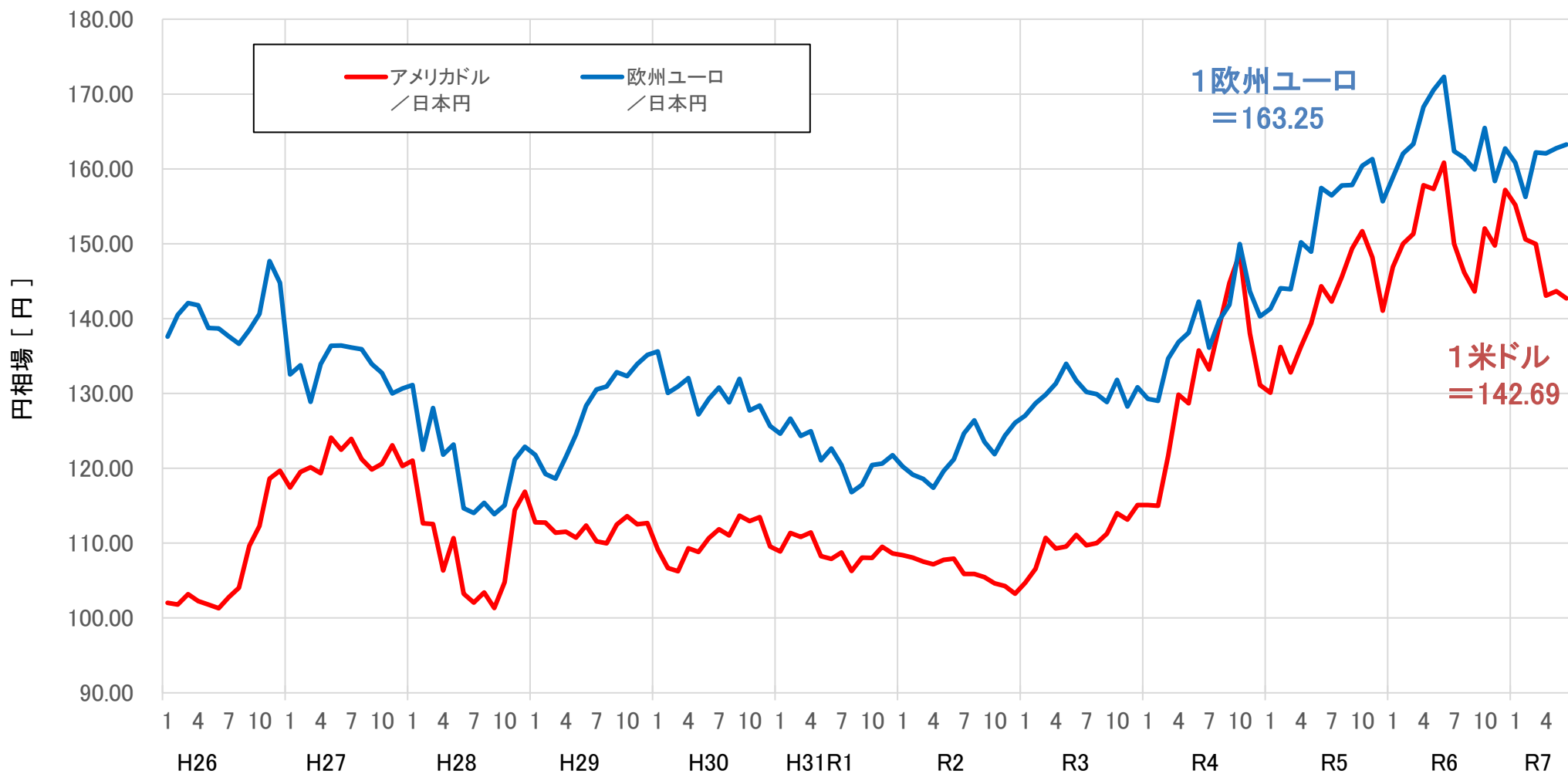
※3 令和4年1月調査から、米まつ平角の製材品価格の把握は廃止された。

30

■ 為替レートの推移（平成26年1月～令和7年6月）

○ 米ドルは、6月1日現在142円台。

○ 欧州ユーロは、6月1日現在163円台。

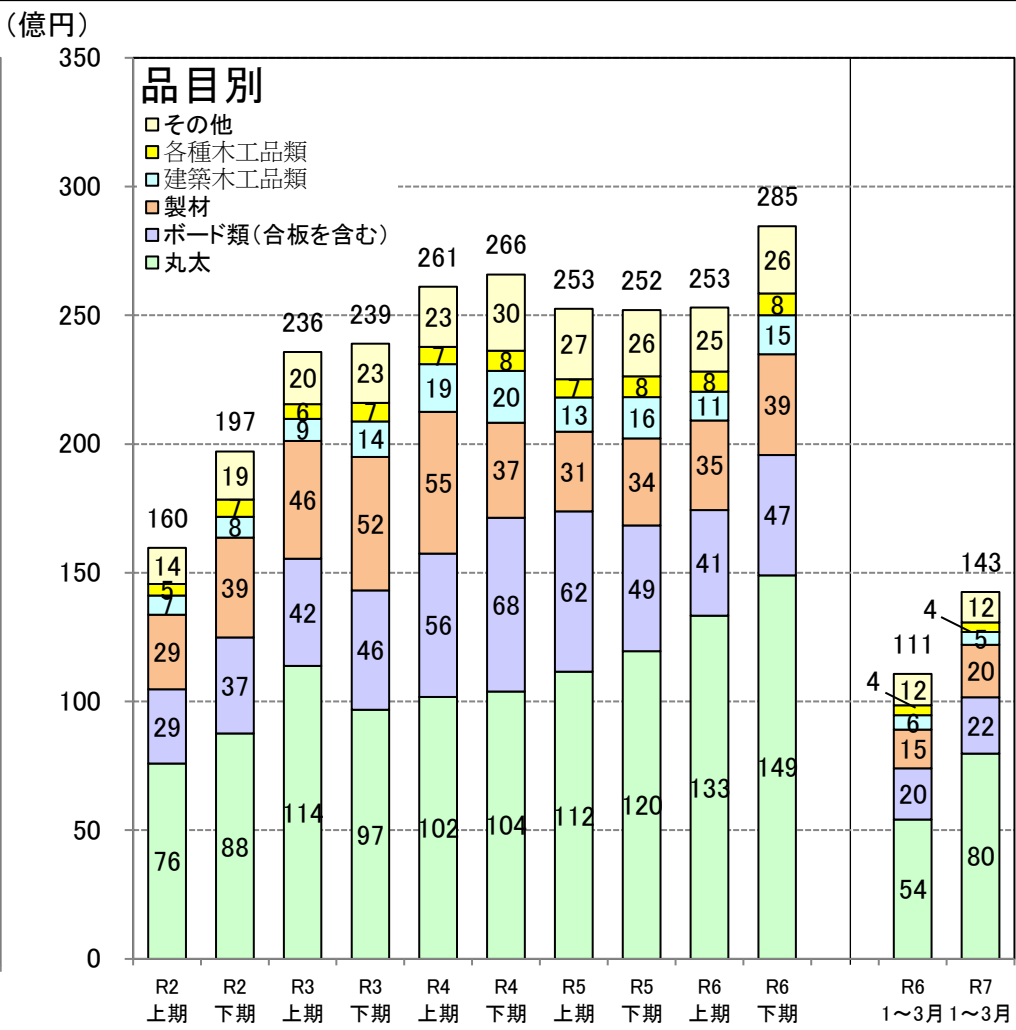
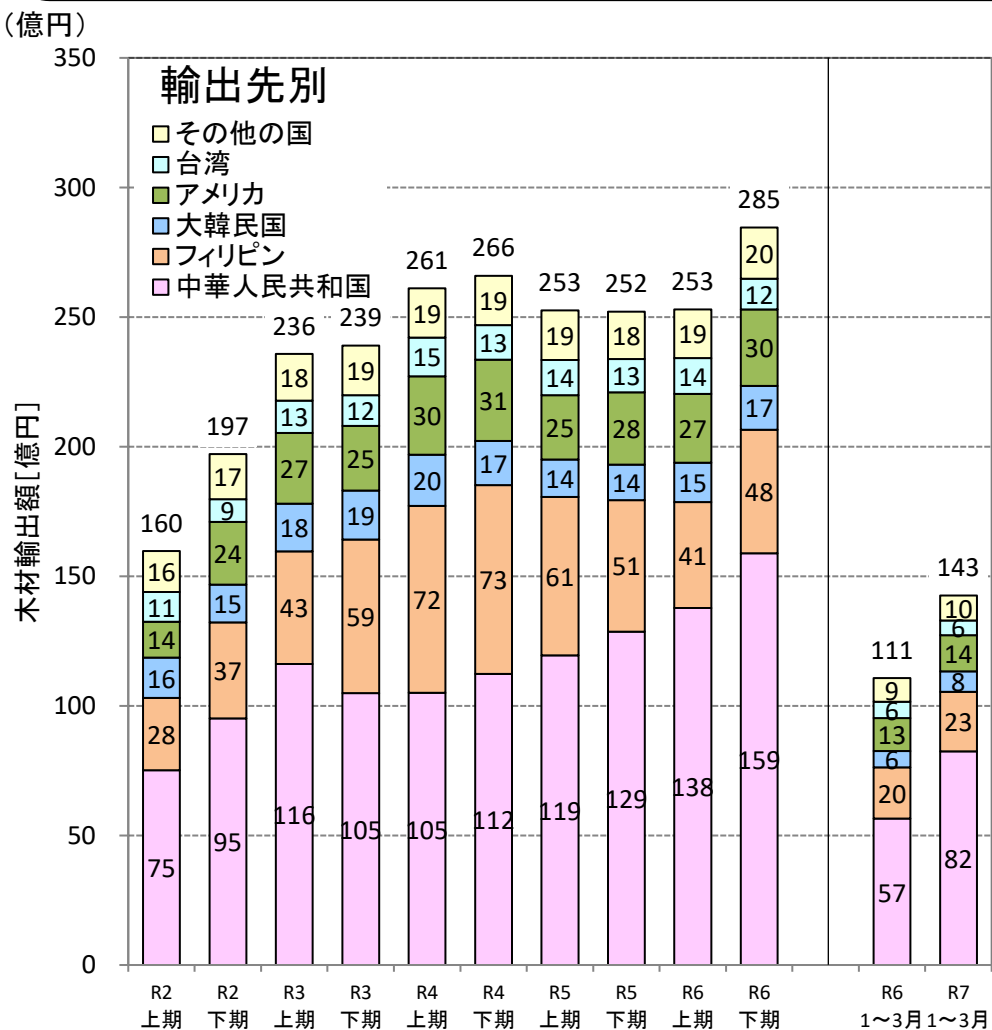


出典：Yahoo! ファイナンス(毎月の値は月初日の終値)

(注)：令和7年6月1日現在

輸出先別及び品目別の木材輸出額の推移（全国）

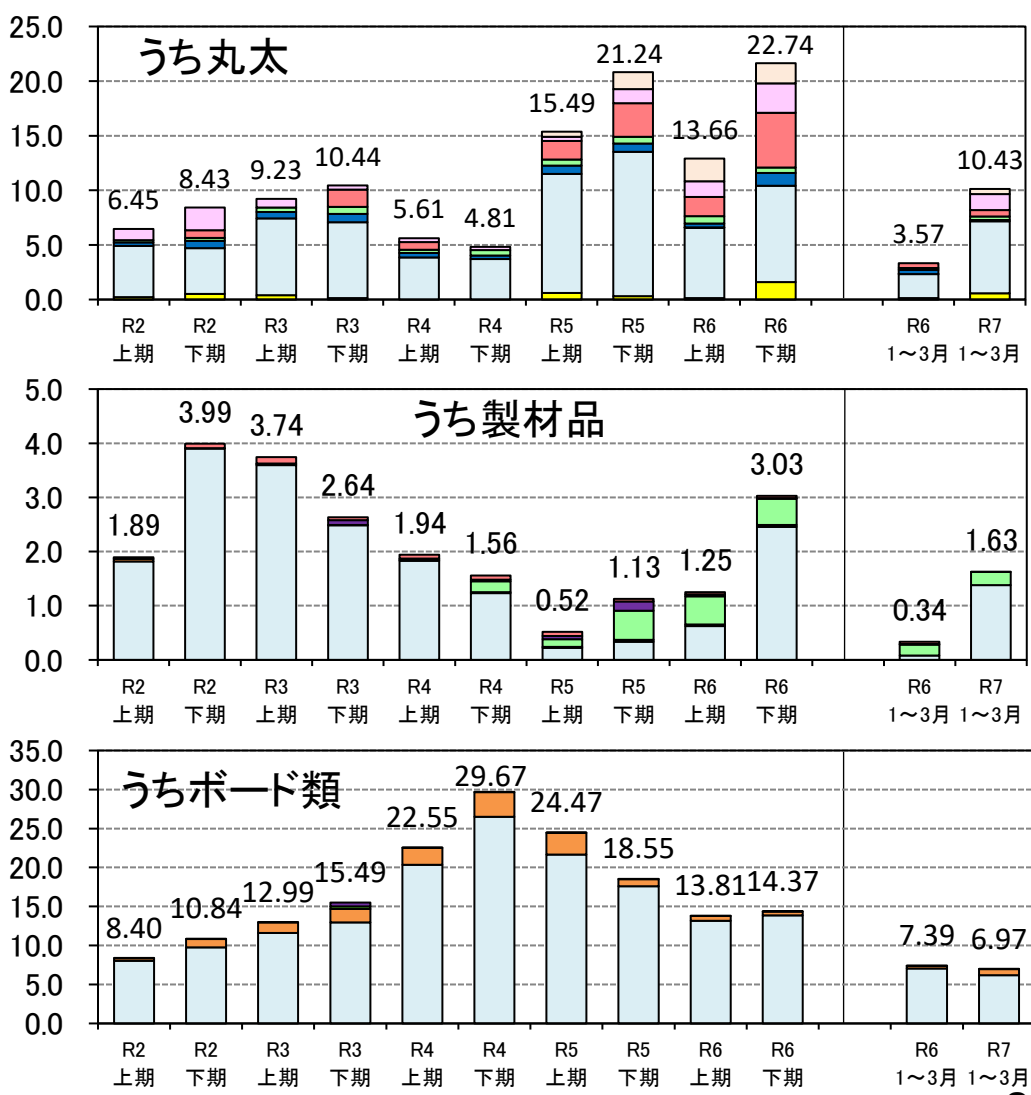
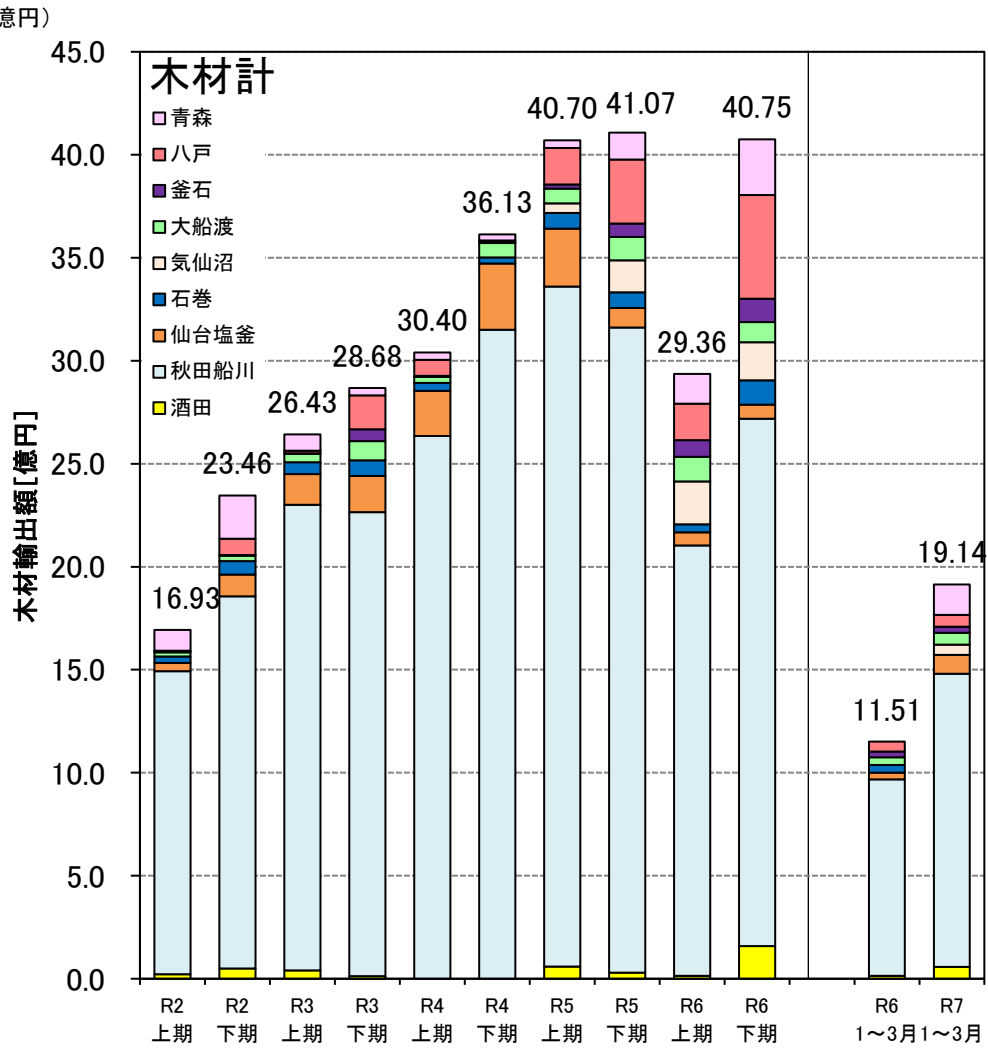
- 木材輸出額はR7年1～3月期を昨年同期と比較すると+28%となっている。
- R7年1～3月期の主要相手国は、中国、フィリピン、アメリカ、韓国、台湾となっている。
- 品目別輸出額では、丸太が最も高く、次いでボード類、製材となっている。
- R7年1～3月期と昨年同期を比較すると、丸太が+47%、製材が+35%、ボード類が+10%となっている。



出典：財務省「貿易統計：統計品別国別税関別一覧表」

■ 東北5県における木材輸出額の推移

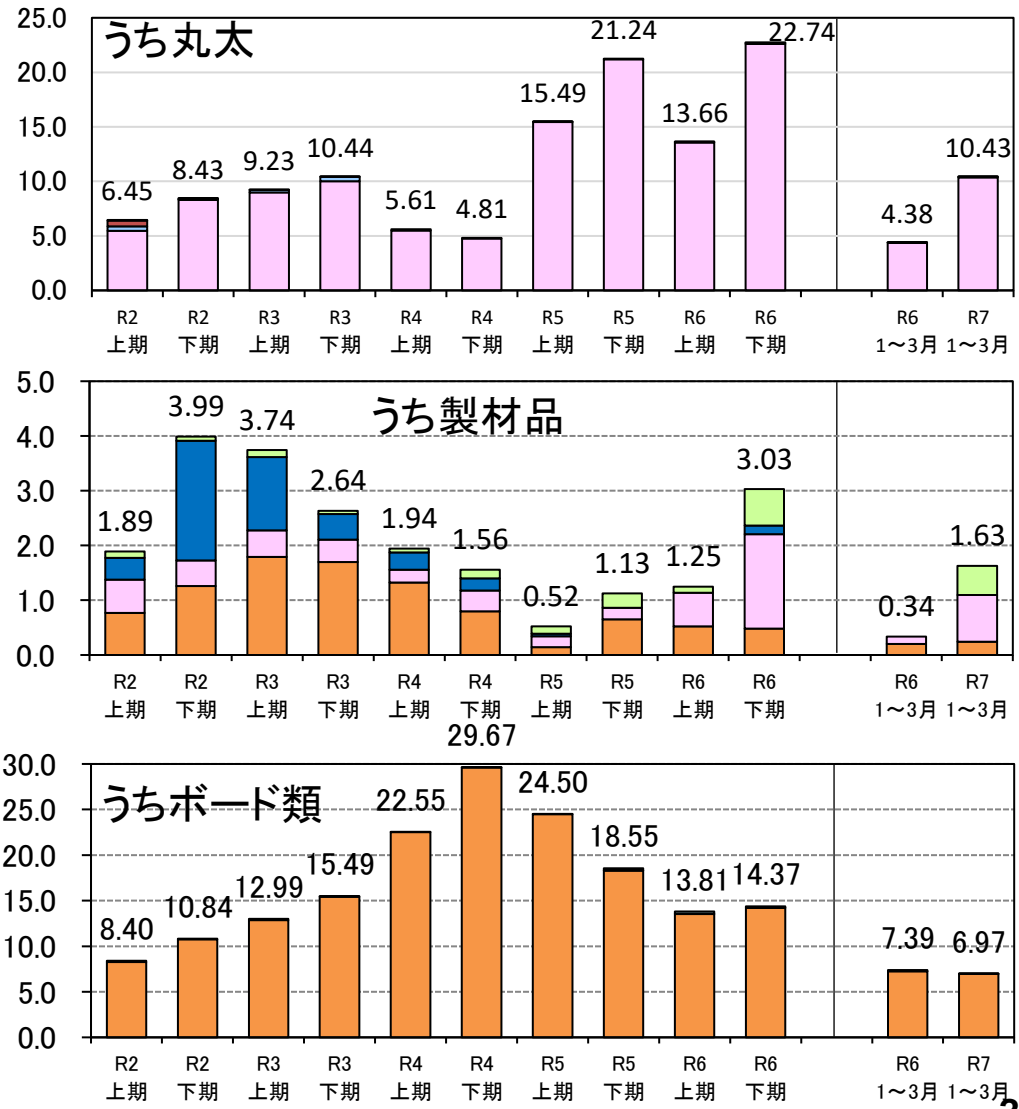
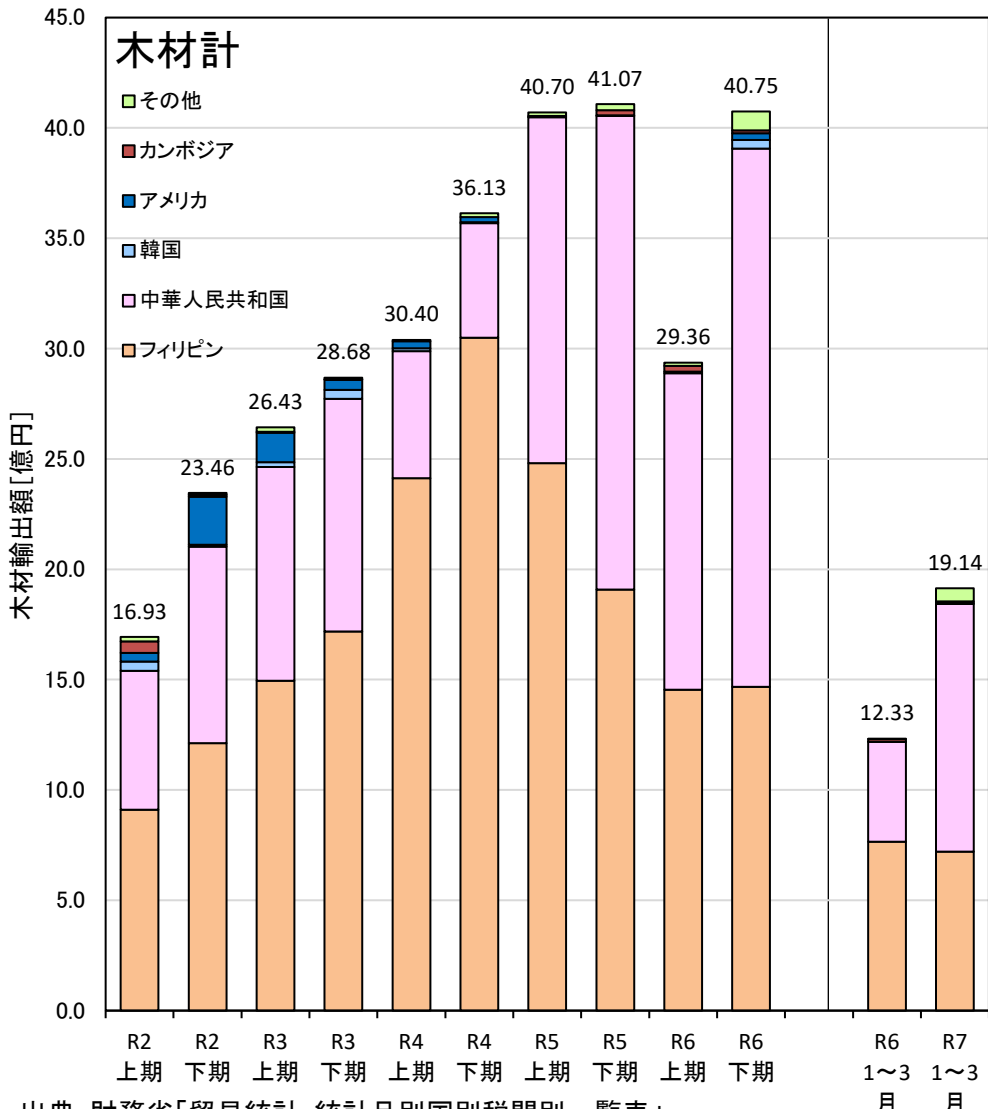
○ R7年1～3月期と昨年同期を比較すると+66%となっている。
○ 品目別のR7年1～3月期は昨年同期と比較して、丸太が+192%、製材が+381%、ボード類が-6%となっている。



出典：財務省「貿易統計：統計品別国別税関別一覧表」

■ 東北5県における輸出先別の木材輸出額の推移

- R7年1～3月期の木材輸出額は、中国が最も多く、次いでフィリピン、アメリカとなっている。
- 品目別では、丸太、製材は中国が最も多く、ボード類はフィリピンが最も多くなっている。

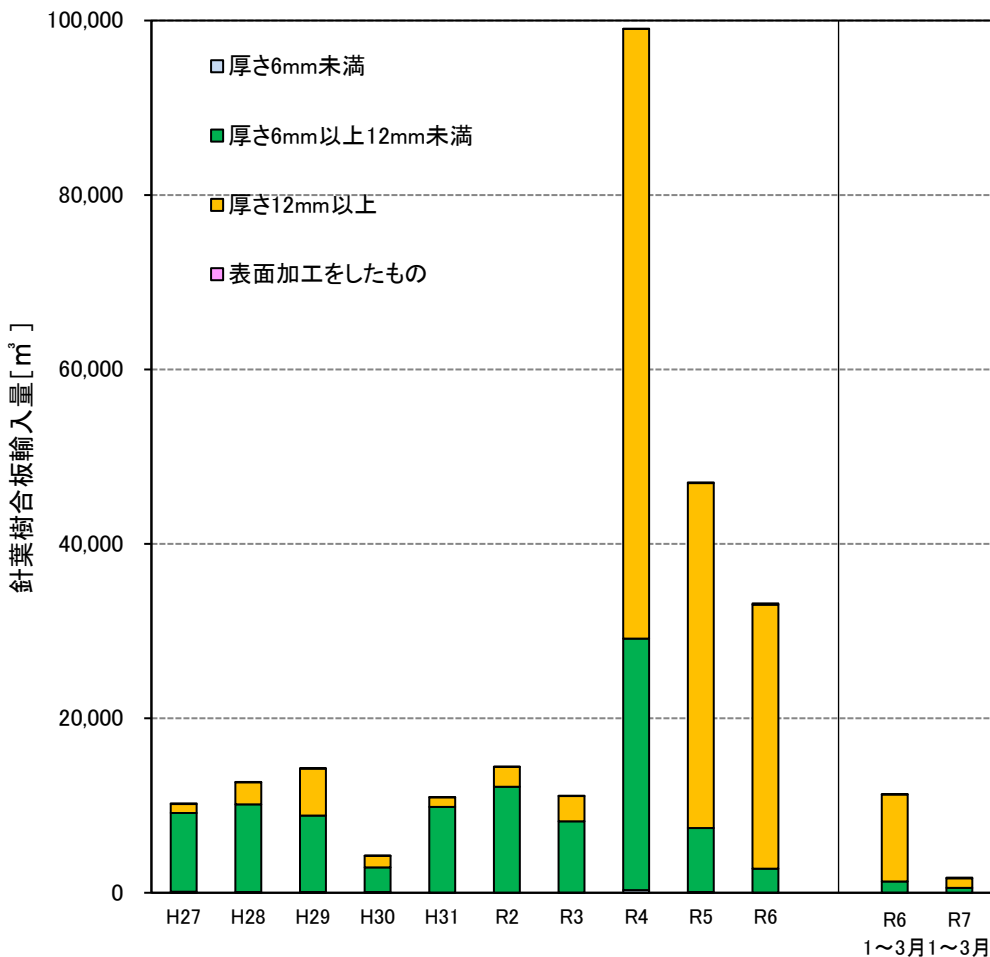


中国からの針葉樹合板の輸入量の推移

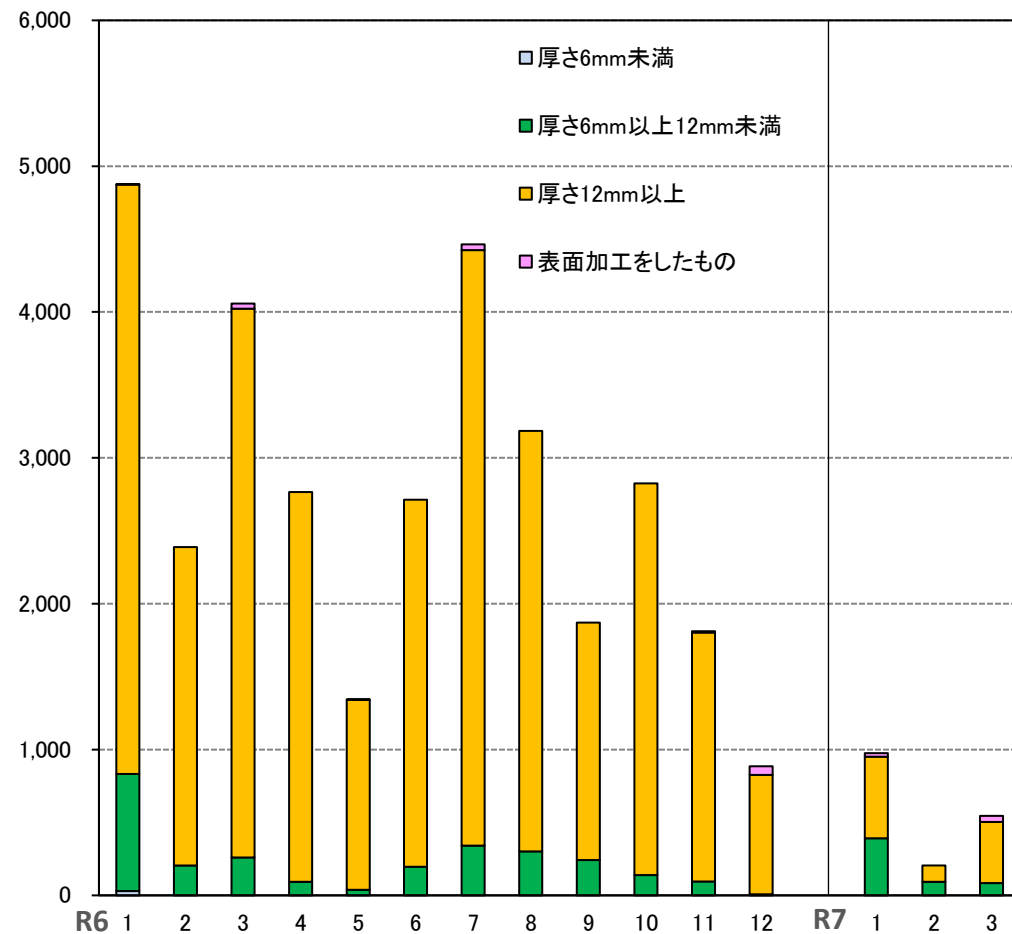
○ R7年1～3月期と昨年同期を比較すると、－85%となっている。

○ R6年の輸入量を月別に見ると、1月が最も多くなっている。

中国からの合板輸入量(年別)

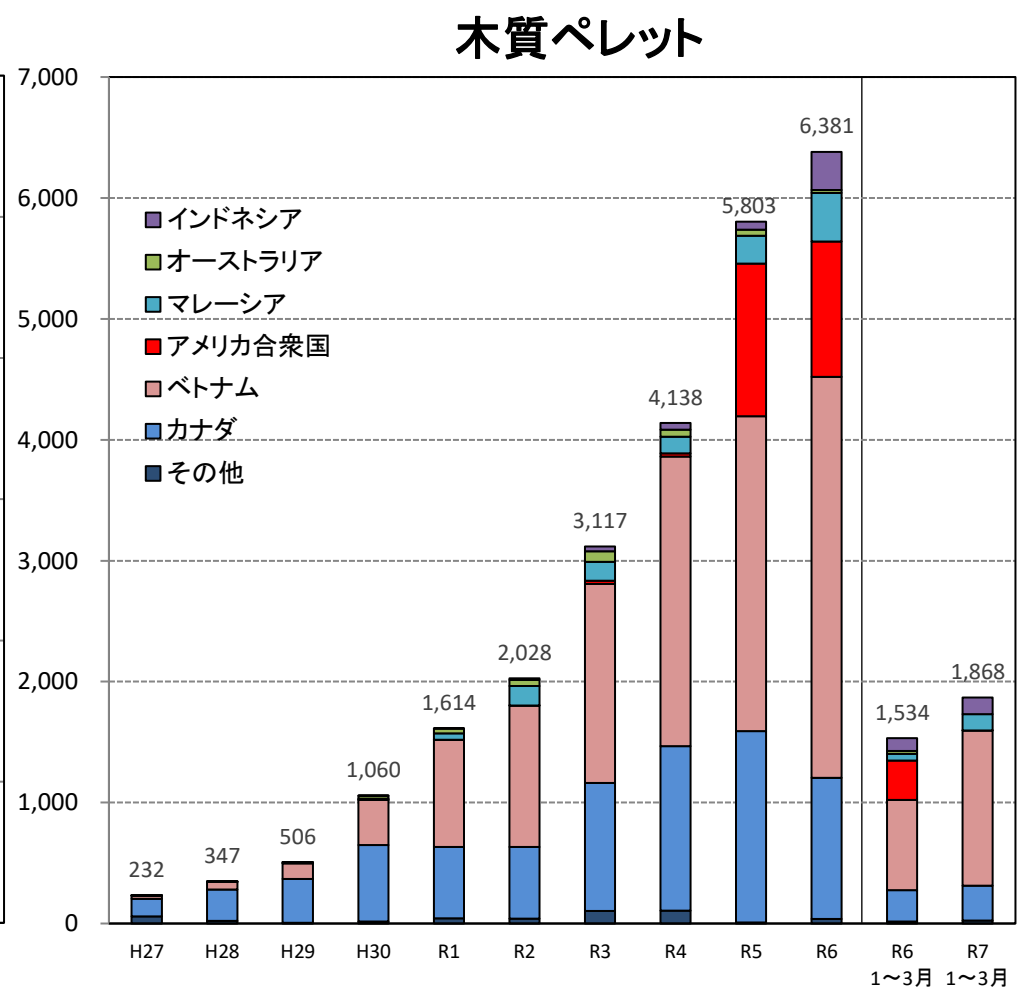
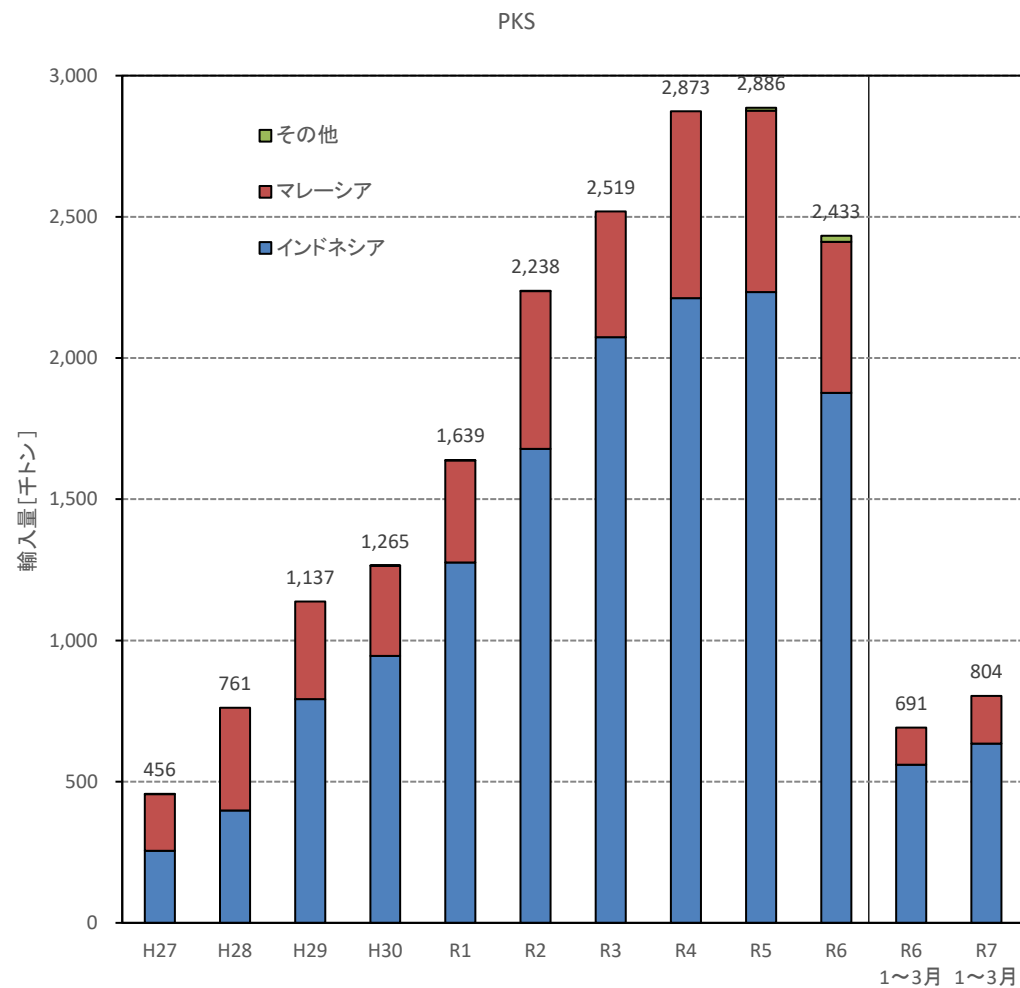


中国からの合板輸入量(R6・R7月別、m³)



PKS・木質ペレットの輸入量の推移

- PKS輸入量は、R7年1～3月期と昨年同期を比較すると、+16%となっている。
- 主な輸入相手国は、インドネシア79%、マレーシア21%となっている。
- 木質ペレット輸入量は、R7年1～3月期と昨年同期を比較すると、+22%となっている。
- 主な輸入相手国は、ベトナム69%、カナダ15%、マレーシア7%となっている。

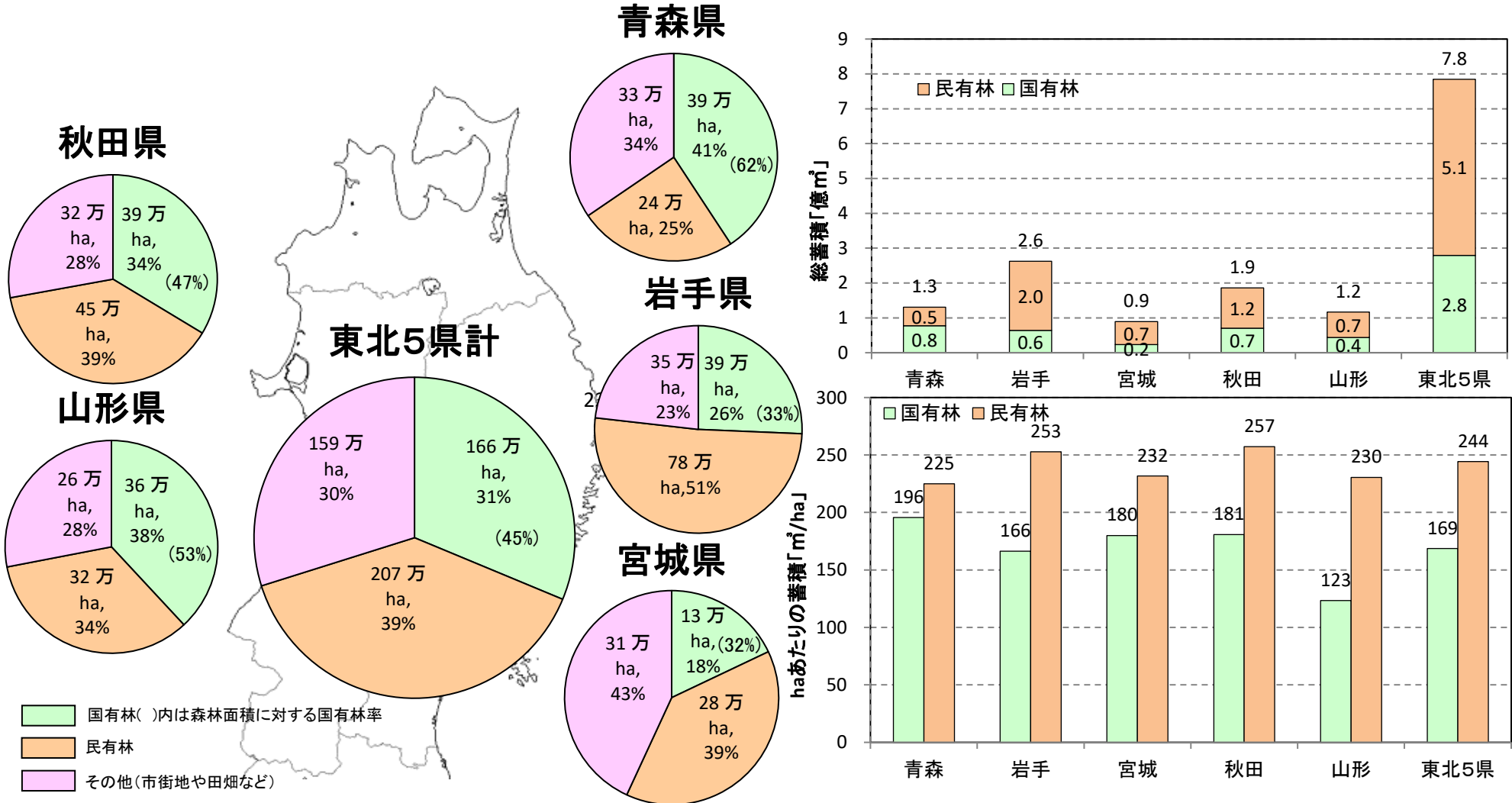


補足資料

- P38～42 東北森林管理局管内の動静(引用:令和5年6月30日公表「令和4年木材統計」等)
- P43 中国からの針葉樹合板の輸入額の推移
- P44 PKS・木質ペレットの輸入量の推移

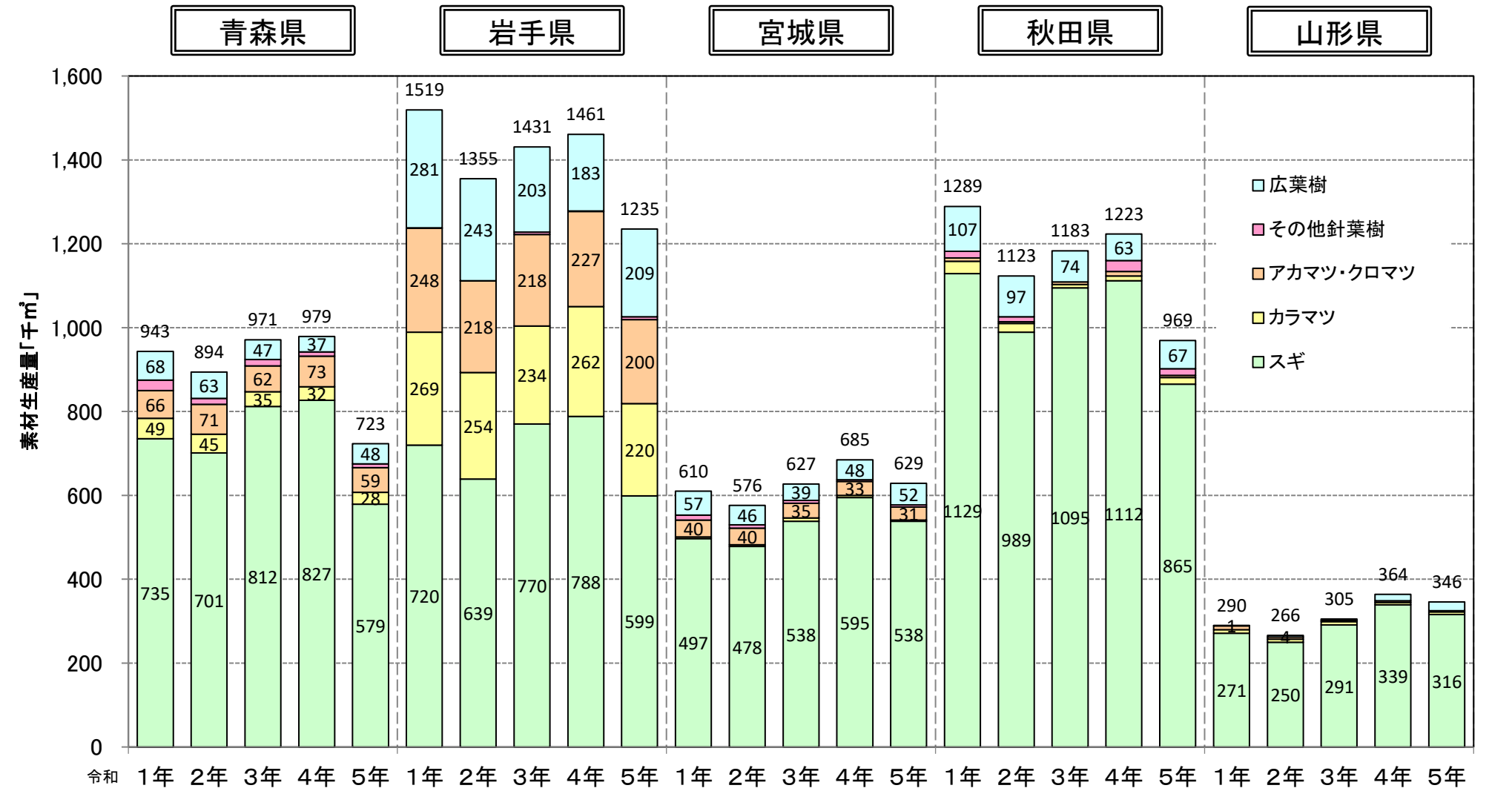
■ 東北森林管理局管内5県の森林面積及び森林蓄積量

- 管内東北5県の蓄積量は約7.8億m³で、全国56億m³の約14%相当。
- 国有林は森林面積の約45%を占め、蓄積では31%。民有林のhaあたりの蓄積は200m³／haを上回る。



■ 東北森林管理局管内各県の国産材の樹種別素材生産量(民・国の合計)

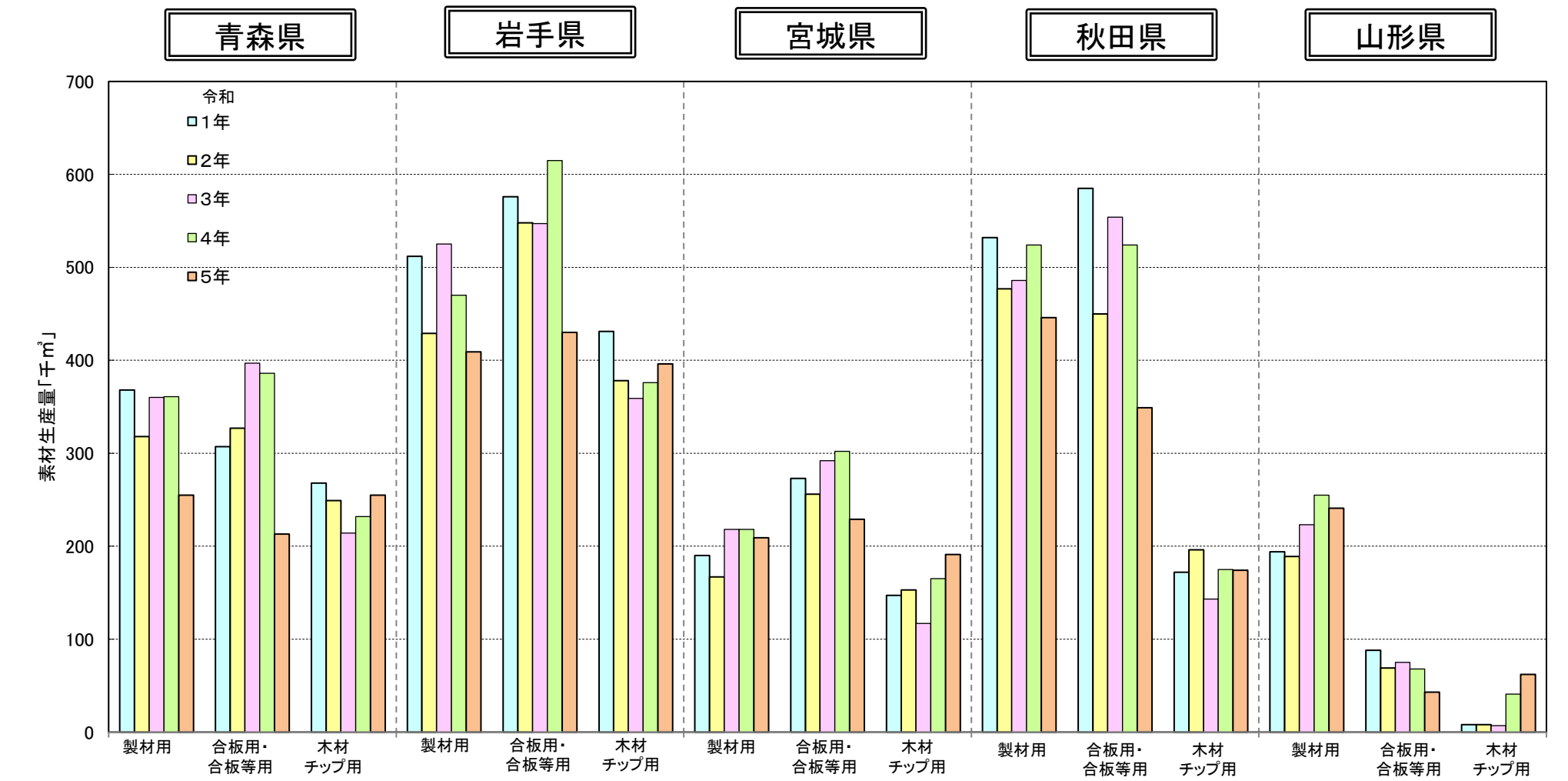
○ 生産樹種は県によって異なる。青森県・宮城県・秋田県・山形県はスギが主体。
○ 岩手県ではスギに加え、カラマツ・アカマツ・クロマツ・広葉樹の生産量が多い。



出典：農林水産省「木材統計」(令和5年度までの集計値)

■ 東北森林管理局管内各県の需要部門別国産材の素材生産量

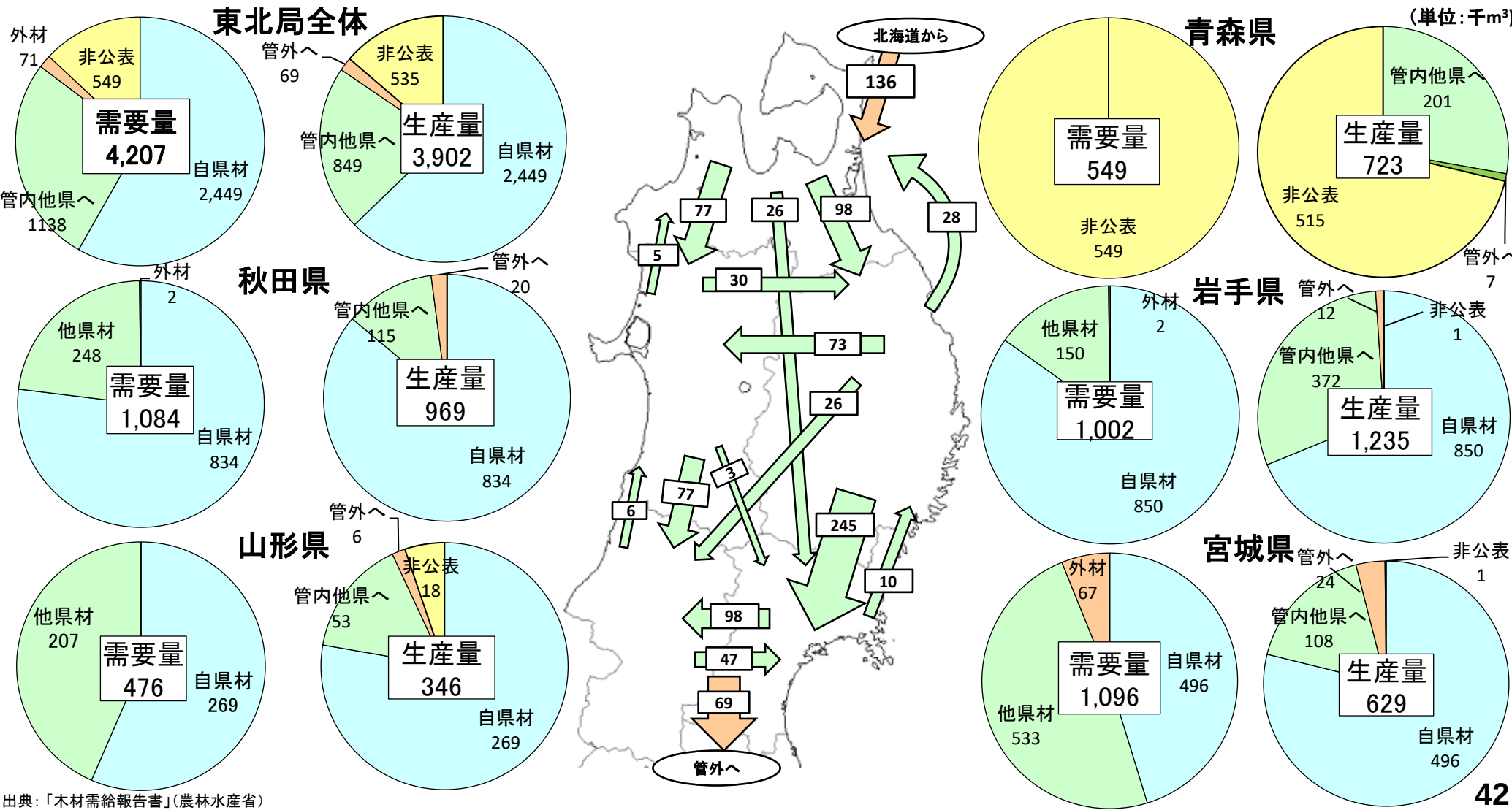
- R5年の製材用の比率が高いのは山形県(70%)。
- R5年の合板等用の比率は岩手県(35%)、宮城県(36%)、秋田県(36%)が高い。
- R5年の木材チップ用の比率は秋田県(18%)、山形県(18%)が低い。



出典：農林水産省「木材統計」(令和5年度までの集計値)
注意：平成29年度から、「合板用」が新たにLVL用を含めた「合板等用」に変更となった

令和5年における東北森林管理局管内各県の生産量及び需要量

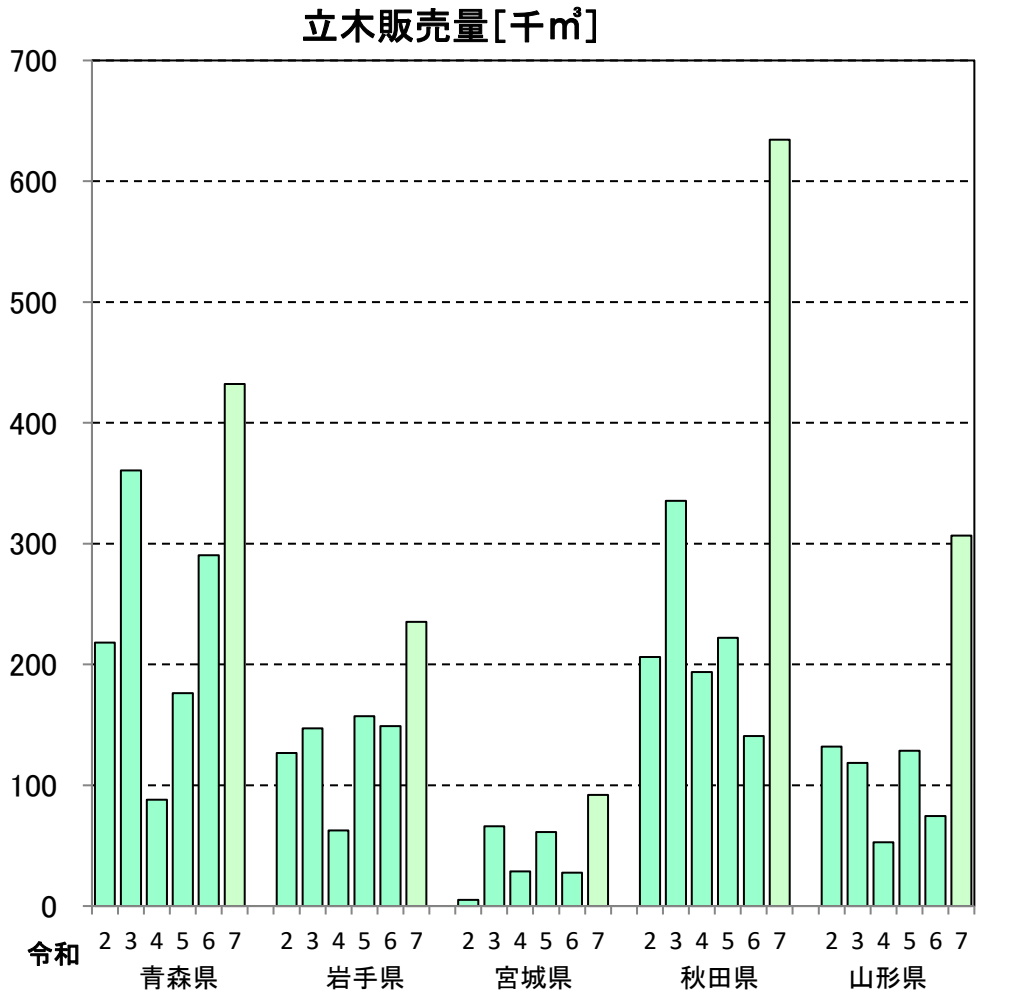
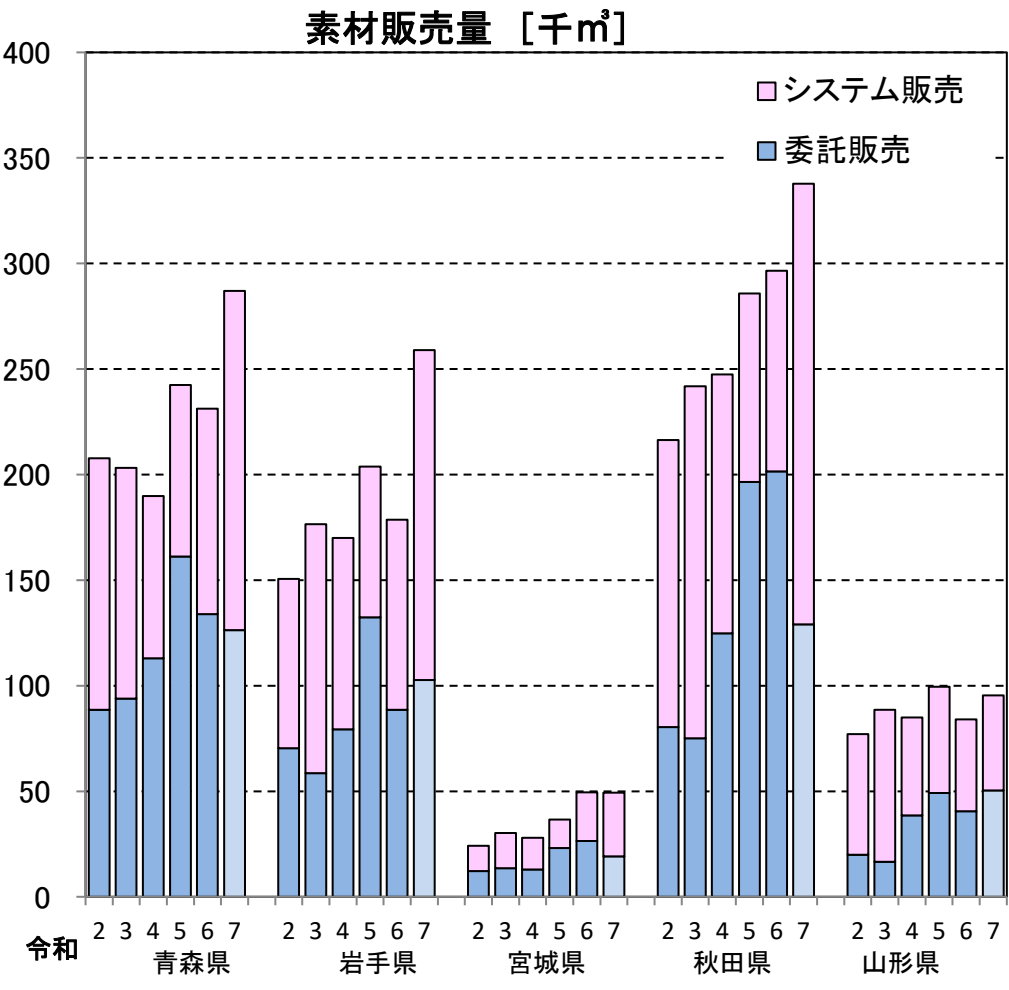
- 東北森林管理局管内5県で生産された素材のうち、約85%が管内で流通している。
- 青森県、岩手県は生産量が需要量を上回り、宮城県、秋田県、山形県では需要量が生産量を上回っている。
- 青森県、岩手県は生産量の約29～31%が他県に出荷されている。



■ 東北森林管理局管内5県の国有林材の販売実績の推移

○ 令和6年度の各県における素材販売量に占めるシステム販売の割合は32%～52%で東北5県では42%だった。令和7年度計画では、各県におけるシステム販売は47%～62%で、東北5県では58%となっている。

○ 令和6年度の立木販売実績は令和2年度と比較すると－1%、前年度比では－9%だった。

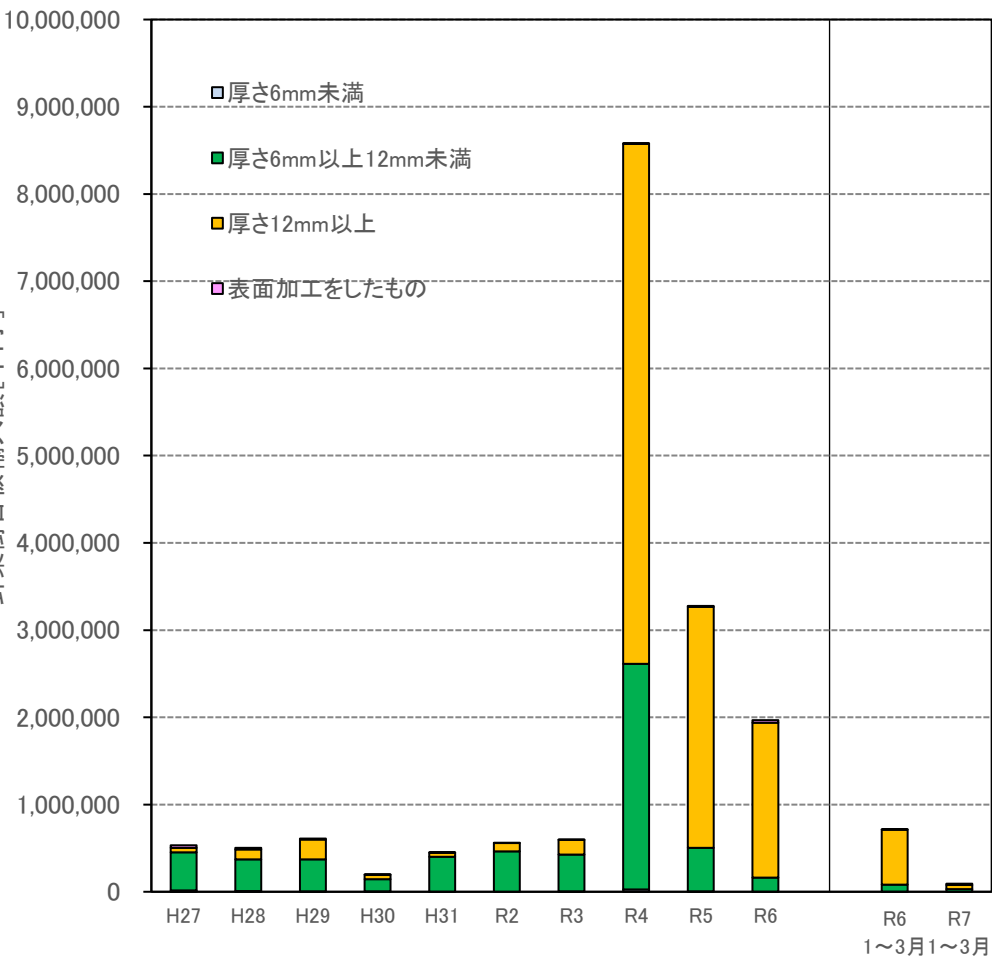


注1: 素材販売量は丸太の材積であり、立木販売量は立木材積である。
注2: 令和7年度は計画量である。
出典: 林野庁業務資料

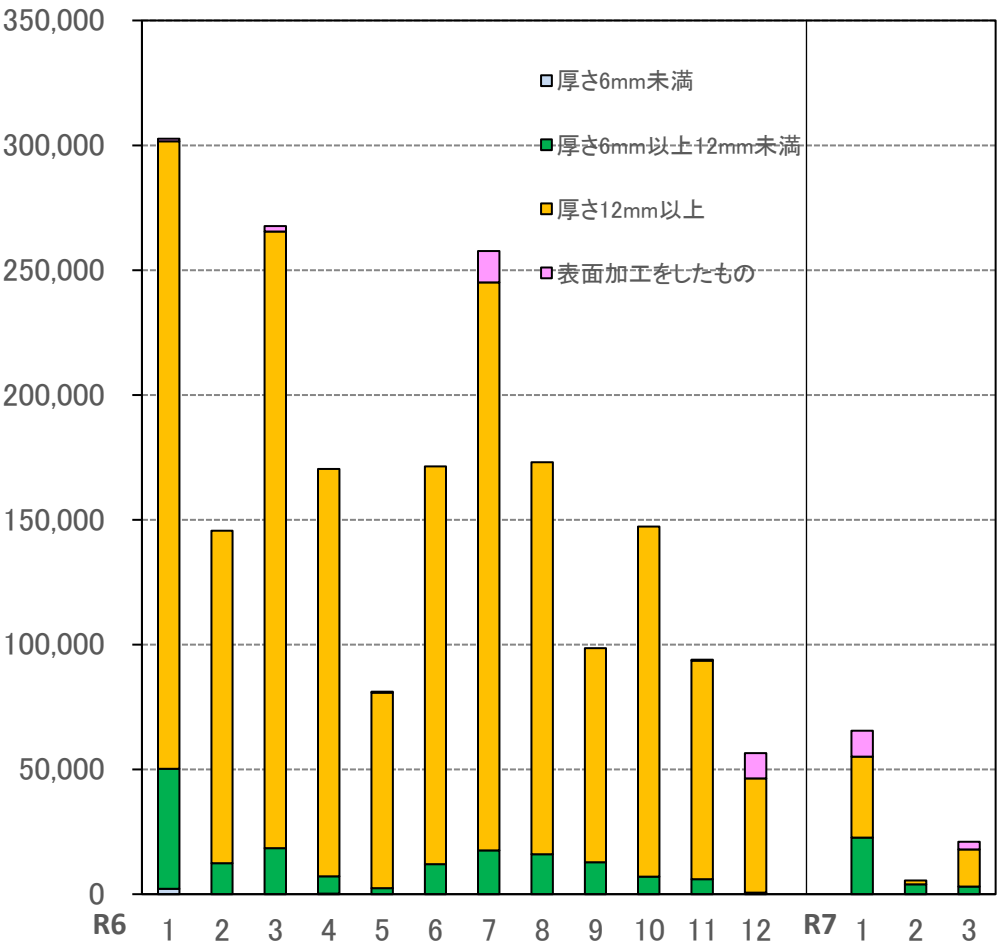
中国からの針葉樹合板の輸入額の推移

○ R7年1～3月期と去年同期を比較すると、－87%となっている。
○ R6年の輸入額を月別に見ると、1月が最も多くなっている。

中国からの合板輸入額（年別）



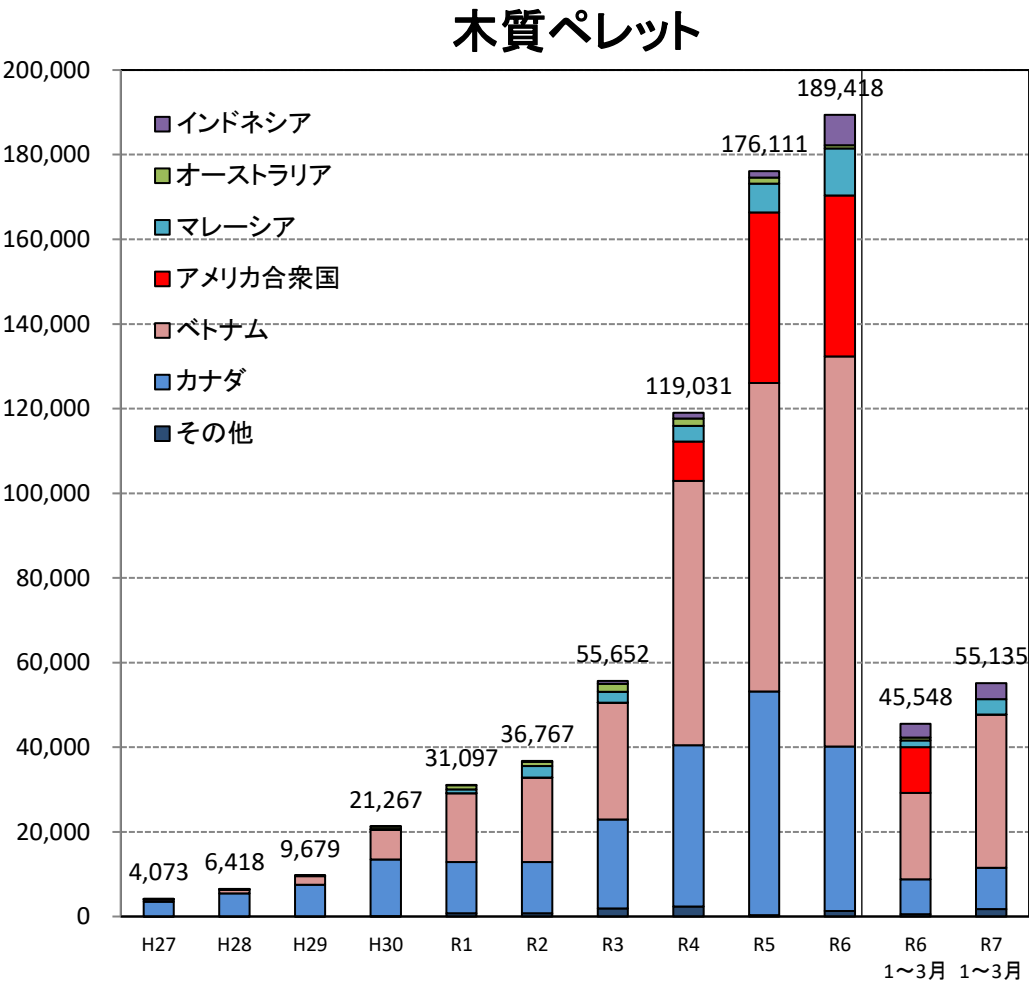
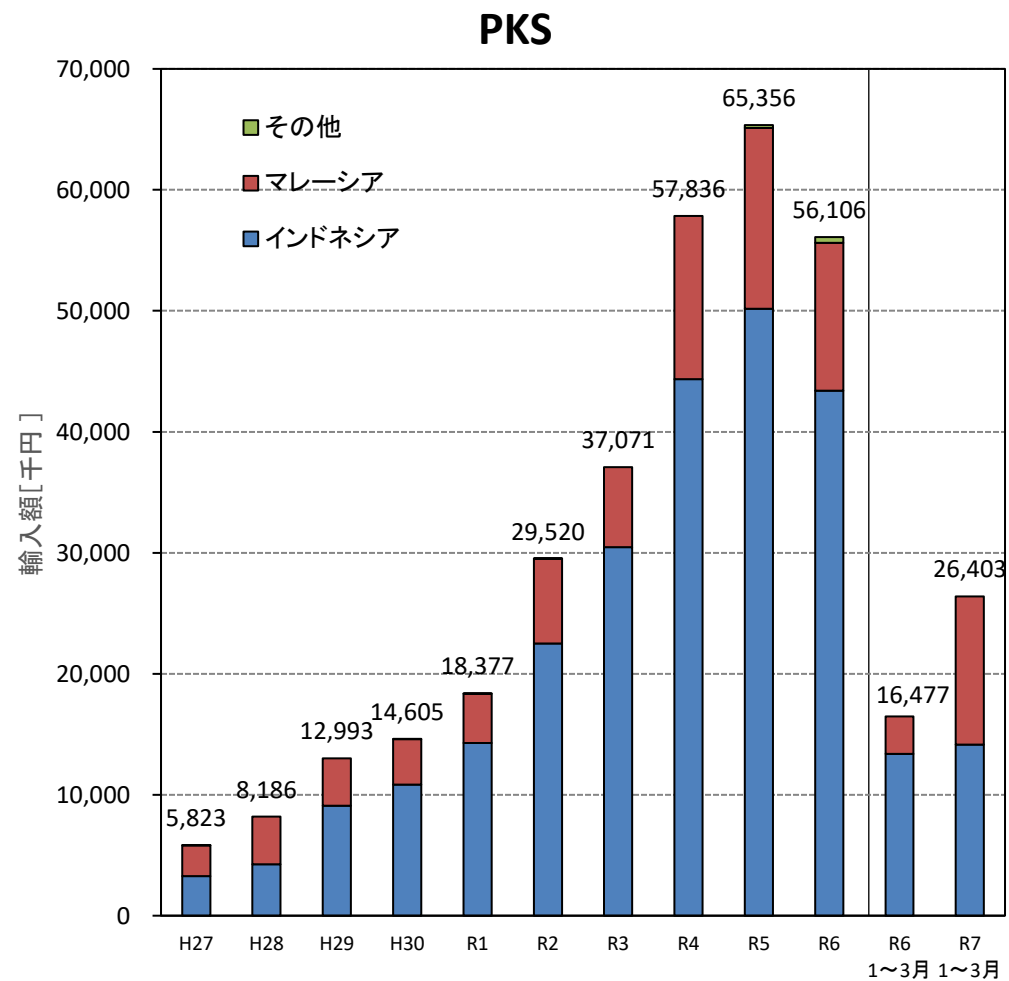
中国からの合板輸入額（R6、R7月別、千円）



出典：財務省「貿易統計：品別国別表」

PKS・木質ペレットの輸入額の推移

- PKS輸入量は、R7年1～3月期と昨年同期を比較すると、+60%となっている。
- 主な輸入相手国は、インドネシア54%、マレーシア46%となっている。
- 木質ペレット輸入量も増加しており、R7年1～3月期と昨年同期を比較すると、+21%となっている。
- 主な輸入相手国は、ベトナム65%、カナダ18%、インドネシア6.8%、マレーシア6.6%となっている。



出典：財務省「貿易統計：品別国別統計」